

市議会だより



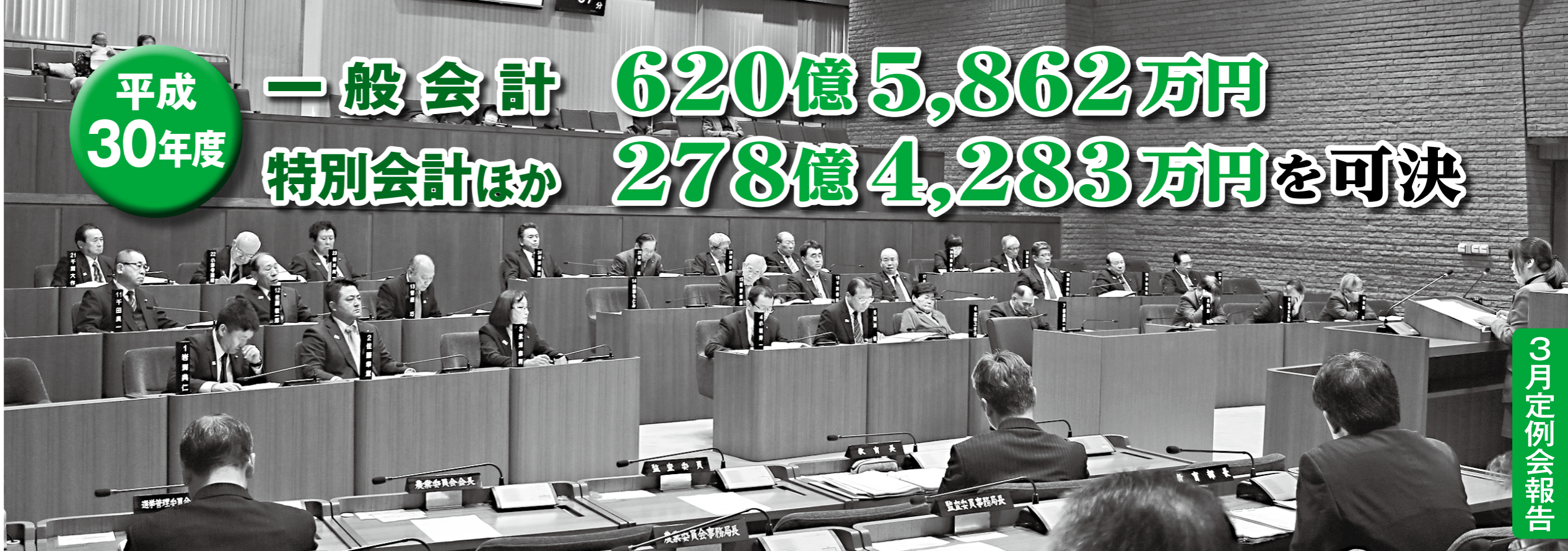
平成30年4月9日 一関市立室根こども園 入園式

- 3月定例会報告 2～6
- 一般質問 12～23
- 予算審査特別委員会報告 7
- 常任委員会活動報告 23
- 総括質疑 8～9
- 市民と議員の懇談会報告 24～30
- 分科会報告 10～11
- 市民の声 31



勝部市長
平成30年度
施政方針

1. 新たな時代への堅固な第一歩
 - (1) ILCを基軸としたまちづくり
 - (2) 資源・エネルギー循環型のまちづくり
2. 明るい未来につながる持続可能なまちづくり
 - (1) 若者の定着
 - (2) 子育て環境の充実
 - (3) 移住・定住の促進
 - (4) 一関の情報発信
 - (5) 高齢化社会に対応したまちづくり
 - (6) 健康長寿のまちづくり
 - (7) 人材の育成
 - (8) 世界の財産を生かすまちづくり
 - (9) 東日本大震災からの復旧復興
3. 重点的に取り組む施策
 - (1) 地域資源をみがき生かせる魅力あるまち
 - (2) みんなが交流して地域が賑わう活力あるまち
 - (3) 自ら輝きながら次代の担い手を応援するまち
 - (4) 郷土の恵みを未来へ引き継ぐ自然豊かなまち
 - (5) みんなが安心して暮らせる笑顔あふれるまち
4. 中東北の拠点都市一関の形成
 - (1) 地域資源をみがき生かせる魅力あるまち
 - (2) みんなが交流して地域が賑わう活力あるまち
 - (3) 自ら輝きながら次代の担い手を応援するまち
 - (4) 郷土の恵みを未来へ引き継ぐ自然豊かなまち
 - (5) みんなが安心して暮らせる笑顔あふれるまち



3月定例会報告

平成30年度 一般会計 620億5,862万円 特別会計ほか 278億4,283万円を可決

一関市議会3月定例会は、2月20日から3月15日までの24日間の会期で開催しました。3月議会は、予算議会であり、初日に勝部市長から平成30年度の市政運営のための施政方針が述べられました。さらに予算については、予算を審査する予算審査特別委員会（菅原巧委員長）を設置し、総括質疑及び4つの常任委員会単位の分科会において慎重な審査を行いました。

一般質問は、2月21日、22日及び26日の3日間で、21名の議員が登壇し、施政方針などに対し、当局の考えをただしました。

総括質疑や各分科会の質疑は後述いたします。

議案審議

審議した主な案件は次のとおりです

条例の制定・改正

- 議案第4号 一関市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

非常勤職員がその養育する子が2歳に達する日まで育児休業をすることができ、所要の場合を定めるなど、所要の改正をしようとするもの。（賛成満場により可決）
- 議案第7号 一関市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

後期高齢者医療の保険料を徴収すべき被保険者の住所の取扱いが変更されたことなどから、所要の改正をしようとするもの。（賛成満場により可決）
- 議案第9号 室根村新規就農者支援資金貸付条例を廃止する条例の制定について

貸付けした資金の償還が終了したことから廃止しようとするもの。（賛成満場により可決）
- 議案第10号 一関市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

都市公園内に設置する運動施設の敷地面積の基準を定めるため、所要の改正をしようとするもの。（賛成満場により可決）
- 議案第26号 市道路線の廃止、変更及び認定について

小泉道線ほか5路線の廃止、狐禅寺大平線の変更及び宝下向山線ほか1路線の認定をしようとするもの。（賛成満場により可決）

- 議案第30号 一関市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

花泉地域内の市民センターの職員による公金等着服事案に関し、市政を担当する最終責任者としての市長の責任を明らかにするため、平成30年4月1日から同月30日までの1カ月間、給料を100分の20を減額しようとするもの。（賛成満場により可決）
- 議案第31号 平成29年度一関市一般会計補正予算（第10号）

歳入歳出予算の補正額は8億1971万9000円を減額し、総額を661億5945万2000円とした。

補正予算

○議案第1号 平成29年度

- ・民生費県補助金 △8億5423万2千円
- ・農林水産業費県補助金 △1億8643万5千円
- ・予備費 5000万円
- ・浄化槽設置整備促進事業費 △7000万円
- ・多面的機能支払交付金 △1億3261万7千円
- ・農林業系廃棄物処理加速事業費 △1億8643万5千円

主な内容
 ・老人福祉費、介護施設等整備事業補助金の減額理由はなぜか。
 答弁 介護保険事業計画に基づき、社会福祉法人等が

予算に対する賛成討論

市長は、平成30年度予算について、「新たな時代への「堅固な第一歩」となるよう予算を編成された。

次の世代を担う子供たちが、ふるさと一関を愛し、夢と希望と誇りを持って活躍できる地域としていく。そのようなまちづくりが進むこと、安心して子どもを生み育てられる環境づくり、雇用対策、定住環境の整備、都市基盤の整備などの各種施策が、協働のまちづくりの取り組みのもとに展開されることを期待する。

勝部 伸行 議員

予算に対する反対討論

国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定、改正税率は、所得割の軽減はおおむね1.4%に対して均等割、平等割は0.7%と約半分、低所得者ほど軽減率が低い。応能割である所得を基本とし、低所得者ほど重くのしかかる応能割の負担を軽減するよう求める。

一般会計予算、焼却施設の反対署名は、狐禅寺地区有権者60%、現施設の5区は92%が反対であり、民意は建設反対である。主権者の声を受けとめて、候補地を決定すべきである。

石山 健 議員

人権擁護委員の推薦

次の7氏について満場での同意した。任期は平成30年7月1日から3年間。

吉家 本浄氏 (68歳) 蘭梅町

山崎 正敏氏 (66歳) 大手町

伊藤 勉氏 (68歳) 藤沢町黄海

藤本 千二氏 (69歳) 敵美町

金 廣幸氏 (65歳) 三関

及川 武芳氏 (64歳) 敵美町

小野寺ヨシ子氏 (66歳) 花泉町老松

に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

千厩町小梨字西ノ前地内の市道で発生した物損事故に関し、損害を与えた相手方に対して賠償すべき額について専決処分したものを。

報告第2号 職員による自動車事故に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

職員が公務中におこした自動車事故に関し、損害を与えた相手方に対して賠償すべき額について専決処分したものを。

協議

議案第2号 岩手県市町村総合事務組合における共同処理する事務の変更及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議について

議案第3号 岩手県市町村総合事務組合の財産処分の協議について

専決処分

報告第1号 道路の管理

ていることにしている。

質疑 多面的機能支払交付金の1億3261万7000円の減額はなぜか。

答弁 平成29年度は225地区を見込んでいたが、実質的には212地区にとどまったため減額したものである。

質疑 除雪費については予備費というより、目的をもって積み増すということではないのか。

答弁 今後想定される雪解け水による増水など不測の事態に対応するため、除雪費に計上すると限定的になることから予備費に計上した。

(賛成満場により可決)

議案第32号 平成29年度

一関市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

後期高齢者医療保険料調定見込額の増に伴い、所要の改正をしようとするもの。

(賛成多数により可決)

議案第33号 平成29年度

一関市下水道事業特別会計補正予算(第2号)

花泉公共下水道整備事業費の増額など、所要の補正をしようとするもの。

(賛成満場により可決)

議案第34号 平成29年度

一関市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

農業集落排水管理費について地方債を充てるため、所要の補正をしようとするもの。

(賛成満場により可決)

議案第35号 平成30年度

一関市一般会計補正予算(第1号)

県営経営体育成基盤整備事業負担金及び県営農村地域防災減災事業負担金の減額、室根高原牧野管理運営費の増額など、所要の補正をしようとするもの。

(賛成満場により可決)

議案第36号 平成30年度

一関市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

花泉公共下水道整備事業費の減額など、所要の補正をしようとするもの。

(賛成満場により可決)

意見書

※発議：議員からの提案

可決した意見書については関係機関へ送付しました。

発議第1号 介護保険制度の拡充強化を求める意見書について (賛成少数により否決)

提出者 千葉信吉 賛成者 金野盛志、菅野恒信

介護保険制度の拡充強化を求める意見書

誰でも安心して利用できる介護保険制度の実現を行うよう強く要望する。理由 我が国の高齢化は年々進み、介護施設の重要性が叫ばれる中、全国的に介護保険料の上昇や介護人材の不足など介護サービスが危機的状況にある。...

発議第2号 生活保護費の削減に反対する意見書について (賛成少数により否決)

提出者 菅野恒信 賛成者 岩淵善朗、石山健

生活保護費の削減に反対する意見書

安倍内閣は、今の通常国会に日常生活に不可欠な食費、水光熱費に相当する生活扶助費を削減する来年度予算案と生活保護法の一部改正案を提案し、審議が進められている。既に衆議院ではこの削減を含む平成30年度予算(案)が可決し、現在参議院に審議が移っている。

専決処分

報告第1号 道路の管理

発議第3号 国民健康保険制度の財源確保に関する意見書について (賛成多数により可決)

提出者 藤野秋男 賛成者 金野盛志、小野寺道雄、岡田もとみ

国民健康保険制度の財源確保に関する意見書

国民健康保険(以下国保という)は皆保険制度として1961年にスタートしました。以来、組合健保や協会けんぽ等、他の保険に加入できない全ての国民の健康を守る重要な制度となっています。そのため、国保法第1条では社会保障制度であることも謳っています。...

予算審査特別委員会報告

予算審査特別委員会は、各分科会を含め6日間にわたって開催し「平成30年度一関市一般会計予算」ほか、予算関係等の議案の審査を行いましたのでお知らせします。

平成30年2月20日に予算審査特別委員会を開催しました。正副委員長の互選を行い、委員長には本委員長が、副委員長には佐藤雅子委員が選任されました。

平成30年度一関市一般会計予算ほか20件の審査を行うため、2月20日、3月1日、2日、5日、6日、12日の6日間にわたり委員会を開催しました。

3月1日、2日の2日間は総括質疑を行い、その後直ちに常任委員会単位の4分科会を設置し、所管に係る予算議案及び関連する条例議案の審査を行いました。

特別委員会最終日に4分科委員長から審査結果の報告を受け採決を行いました。

採決の結果、議案第6号、第12号、第14号、第23号の4件は多数で、他の17件は満場可決すべきものと決しました。

なお、総務分科会より職員による公金着服事案について、二度とこのような事案が発生することのないよう、コンプライアンスの徹底はもとより、組織体制の根本的な見直しを含めた対策を講じ、市民からの信頼回復に努められたい。また、職員の長時間労働が常態化している部署も散見されることから、適正な人員配置や働き方改革に努められたいとの附帯意見がありました。

教育民生分科会より花泉地域統合小学校の建設用地の選定に当たっては、建設の支

予算審査特別委員会

委員長 菅原 巧

障となるような各種法規制に抵触することのないよう留意され、建設用地選定過程等について地域関係住民に説明し、理解を得ながら進められたいとの附帯意見がありました。

予算執行に当たり、これらの意見を尊重して進めていただきたい。



【表決が分かれた案件】

議案第 号	一関市議会 公明党		日本共産党 一関市議団		一政会							希望			清和会					会派に属さない議員											
	岩 瀧 優	小 岩 寿一	藤 野 秋男	岡 田 もとみ	菅 野 恒 信	石 山 健	小 野 寺 道 雄	佐 藤 幸 淑	岩 瀧 典 仁	永 澤 由 利	千 田 良 一	佐 藤 敬 一 郎	菅 原 巧	千 葉 大 作	橋 本 周 一	金 野 盛 志	千 葉 信 吉	岩 瀧 善 朗	千 葉 幸 男	勝 浦 伸 行	門 馬 功	佐 々 木 久 助	佐 藤 浩	小 山 雄 幸	千 田 恭 平	千 葉 雅 子	沼 倉 憲 一	武 田 ユ キ 子	那 須 茂 一 郎	柳 山 隆	
議案第6号	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
発議第2号	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
発議第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※○は賛成、×は反対

会議等出席状況

1月から3月までの定例会・常任委員会・特別委員会等について出席状況をまとめたものです。数字の入っている項目が、各議員の所属している委員会です。

会議名	議員氏名																															
	開催総日数	柳山 隆	沼倉 憲二	岩瀧 典仁	佐藤 幸淑	永澤 由利	小岩 寿一	岩瀧 優	武田 ユキ子	那須 茂一郎	門馬 功	佐々木 久助	佐藤 浩	千田 良一	佐藤 敬一郎	菅原 巧	岡田 もとみ	菅野 恒信	千葉 信吉	金野 盛志	勝浦 伸行	小山 雄幸	千田 恭平	千葉 雅子	橋本 周一	藤野 秋男	石山 健	岩瀧 善朗	千葉 幸男	佐藤 雅子		
第65回 定例会	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
予算審査特別委員会	4		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
同 総務分科会	1			1			1		1		1			1													1			1	1	
同 産業経済分科会	1				1	1						1	1		1													1	1			
同 建設分科会	1		1							1								1		1	1				1	1						
同 教育民生分科会	2							2									2	2				2	2									
総務常任委員会	1			1			1		1		1			1													1			1	1	
建設常任委員会	1		1							1								1		1	1				1	1						
教育民生常任委員会	2							2								1	2		2				1	2	2							
議会報編集特別委員会	4			4			4		4	4	3			4			4	4														
ILC誘致・学術研究都市づくり調査特別委員会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
資源・エネルギー循環型まちづくり調査特別委員会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
議員全員協議会	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	2	3
議会運営委員会	3							3					3									3	3				3	3	3			

議会日誌

13日	一関市議会報編集特別委員会
10日	一関市議会報編集特別委員会
4日	一関市議会報編集特別委員会
4月	
15日	懇談会市長への提言
13日	代表者会議
12日	議会運営委員会、会派
6日	予算審査特別委員会(分科会)
5日	予算審査特別委員会(分科会)、総務常任委員会
2日	予算審査特別委員会(総括質疑)
1日	3月 予算審査特別委員会(総括質疑)、一関市議会報編集特別委員会
26日	本会議(一般質問)
22日	本会議(一般質問)
21日	本会議(一般質問)
20日	議員全員協議会、本会議、予算審査特別委員会
13日	議会運営委員会、会派代表者等会議、資源・エネルギー循環型まちづくり調査特別委員会、建設常任委員会
9日	教育民生常任委員会
8日	議員全員協議会
7日	教育民生常任委員会
2月	

総括質疑

2日間にわたった総括質疑では、平成30年度の予算を審査するため、予算要求のあったさまざまな事業について質疑をしました。

質問者は、岩淵優、小岩寿一（一関市議会公明党）、藤野秋男、岡田もとみ、菅野恒信、石山健（日本共産党一関市議団）、小野寺道雄、永澤由利、千田良一、千葉大作（一政会）、金野盛志、千葉信吉、岩淵善朗（希望）、門馬功、佐藤浩、沼倉憲二（清和会）、武田ユキ子（会派に属さない議員）の17名であり、主な質疑は次のとおりです。

質疑 中山間地域等直接支払交付金を受けることができる面積に対して、取り組み面積の低い地域が見られる。農業農村の維持管理ができる事業であるが、低い原因は。

答弁 中山間事業は市町村合併前からの事業であり、旧市町村時にそれぞれ財政の負担割合も加味しなければいけないというようなもろもろの事情があったのではないかと。米の直接支払交付金も減少され、3億7000万円ほどが農家の減収となっている。ぜひ、中山間事業の活用を図っていただきたい。減収分の補填も含めて、地域活動に使っていただくように推進していきたい。

質疑 トップアスリート育成強化支援事業の内容は。

答弁 国際大会などで活躍が期待される中学生以上を対象とし、強化練習などに係る費用を支援するためのもの。平成29年度に認定した3人は全員が国際大会に日本代表として出場した実績の持ち主である。平成30年度には強化練習に参加する意欲があり、今後の伸びが期待できる2人分を追加し5人に拡充した。

質疑 放射性物質汚染廃棄物のこれまでの処理実績と残量、今後の処理計画は。

答弁 農林業系汚染廃棄物のうち牧草は平成29年度中に約2845トンの処理を完了し、残り約324トンは平成30年度中に完了する予定。シイタケはだ木については林内に一時保管中のものを搬出し、廃棄物処理業者において破砕処理する。平成29年度は約2000トンの処理を見込んでおり、残量は約1万2300トンとなるが、



4市町合同婚活事業のカップルシート

全ての処理完了は平成34年度になると見込んでいる。**質疑** 結婚活動支援事業費が平成29年度対比で増額となった理由は。

答弁 いきいきいわて結婚サポートセンター負担金の増と、平成30年度から新たに実施する事業として、経済的な理由により結婚に踏み切れない若者世代を支援するため、年齢が夫婦ともに34歳以下で、世帯所得が340万円未満の場合、住居費及び引越費用に対して、30万円を上限とした

補助金を300万円計上したことによる。**質疑** 地域資源活用総合交流促進施設整備事業で整備する施設の機能は。

答弁 大東地域の活性化の拠点となり、休憩休息、物販情報発信、交流、防災機能を有する施設として、道の駅の認定を受けられるよう計画を策定していきたい。今後、整備検討委員会を設置し、計画の具体化を図っていく。委託料は地域資源の有効活用と道路利用者への利便性等を考慮した基本計画の策定や、建設関連業務として地質調査や用地測量等に係るものである。

質疑 子ども・高齢者いきいき住宅支援補助金の対象を子供、高齢者、多世代同居世代に限定した理由は。

答弁 喫緊の課題である人口減少や少子高齢化に対応するため、重点的に取り組

むものである。子育て環境の充実、高齢化社会に対応したまちづくり、若者の定着、定住の促進を図ることを目的として、子育て世帯の住環境の向上、高齢者の暮らしの安全確保、多世代同居の促進を図ることをした。

質疑 今国会で生活保護費削減の法案が出されているが、一関市の受給者にどのような影響を与えるのか。

答弁 生活保護費の制度改正の内容は、生活扶助基準については見直しを行うことが、増額と減額の場合があること。児童養育加算、母子加算等の見直しを行うこと。大学への進学を支援するため、一時金を支給すること。生活扶助費母子加算等の合計額が減額となる場合は最大5%以内にとどめること。地方では引き上げと

なる世帯も多いこと。見直しは3年かけて行うとされているが、国、県からは具体的な改正内容が示されていないことから、平成30年度予算に改正内容は反映していない。

質疑 世界文化遺産拡張登録推薦書案が提出断念となったが、世界遺産登録事業費の詳細は。

答弁 平成25年度から5カ年で集中的な調査研究を行い、文化庁への推薦書案提出を目指してきた。5カ年の成果をもつても、5資産全ての推薦するには世界遺産の評価基準を満たせないとの専門家の意見を踏まえ、推薦書案提出を見送ることとした。平成30年度は発掘調査を進めるとともに、県と関係市町が連携して世界遺産拡張登録に向けた調査検討を行う。

質疑 健康いちのせき21マイル事業の対象となるイベントや特典とは何か。

答弁 この事業は特典と交換できるポイントを付与することで、具体的な行動を踏み出すきっかけをつ

り、市民の健康増進を目的に実施するものである。対象イベントは特定健康診査やがん検診、1日人間ドックなどの受診、特定保健指導や地区健康教室、各地域の健康福祉祭への参加、献血など30項目ほどを想定している。特典については、市内で製造販売されているボックスティッシュ、トイレトペーパーなどを考えている。

質疑 住みよい地域づくり推進事業、まちづくり推進事業をどのように配慮した予算となっているか。

答弁 両事業については、平成28年度からの10年間で450億円の財源を確保している。住みよい地域づくり推進事業は各地域に事業費を配分し、地域ごとに調整、対応する。市道の道路改良、舗装新設事業等を対象とし、学校整備事業についてはその2割を対象としており、全体事業費の4分の1を充てている。まちづくり推進事業は、まちづくり関係や農林業関係の各種補助事業や消防関係の施設

整備、車両更新等を対象としており、全体事業費の4分の3を充てている。

質疑 移動式赤ちゃんの駅整備予算62万8000円の具体的な内容は。

答弁 移動可能なテント一式、折り畳み式おむつ交換台、授乳用の椅子、マット等のセットを市が整備し、イベントなどに訪れる乳幼児を連れた保護者に利用していただけるよう、その主催者に貸し出しするもの。野外で開催されるイベント等に保護者が参加しやすい環境を整え、さらなる子育て支援を行うとするもの。

質疑 水道施設運転管理等業務の委託による内部体制はどのように変わるのか。

答弁 職員は水道事業に関する計画策定や水道管の維持修繕、水質検査、設計等を担う。受託業者は電気機械の専門技術者を配置し、業務の管理監督を行う。脇田郷浄水場に技術職員を集約し、受託業者と連携し市内全域の水道施設の運転維持管理を担う。東部の6地域も技術職員を千厩支所に



一関市水道施設管理システム（東部水道課）

集約し、水道管の維持管理に努めていく。**質疑** 木造住宅耐震改修工事助成事業の成果と実績及び耐震ブレイカーの設置は補助対象となるのか。

答弁 交付実績は平成19年度から平成30年2月末現在までで100件である。平成25年の住宅土地統計調査をもとに市内住宅の耐震化率を算定したところ66%となっており、平成20年調査時と比較して10ポイントの上昇となっている。市内の木造住宅の安全性向上を図られたと捉えている。建物本体の耐震性の向上を目指すものであり、耐震ブレイカーは対象外である。

質疑 インバウンド推進事業の内容は。

答弁 ①台湾、中国、韓国などの旅行エージェントなどを当地域へ招き、栗駒山周辺観光地のPR、旅行商品販売等を目的とした、栗駒山インバウンド推進事業。②国際旅行博に出展し観光PRと旅行エージェントとの商談会を行う、インバウンド誘客情報発信事業。③国際博覧会に出展し、観光PRと台湾の旅行エージェントとの商談会を行う、台湾観光プロモーション事業。④当地域の魅力盛り込んだ動画や観光パンフレットなどを作成し、台湾、香港の旅行客をターゲットに情報発信を行う、台湾、香港旅行客向け魅力発信事業。⑤台湾の旅行エージェントを当地域に招き、観光素材の評価と旅行商品の造成、販売を目的とした、現地エージェントなどを対象とした、インバウンド推進事業となっており、広域連携により、スケールメリットを生かした事業展開を行う予定としている。

総務分科会

委員長 千葉 幸男

3月5日、総務分科会に付託された総務部、会計課、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、市長公室、まちづくり推進部及び消防本部所管に関する平成30年度予算と関連議案について審査を行いました。

●総務部関係の歳入市税

給与所得者の課税状況をみると前年比で低所得層が減少し、その上の階層が増えていることから、比較的雇用が安定し給与が上がってきていることが推測される、また、歳出の固定資産の評価適正化事業は、30年度は8000棟調査する予定で、31年度完了を目標にしているとの説明がありました。

●選挙管理委員会関係

投票率アップに向けた取り組みはとの質疑に対し、期日前投票所のあり方や共通投票所の増設、若年層に対する選挙啓発、移動支援などについて議論していきたいとの説明がありました。

●消防本部関係

災害対策でのドローン導入について質疑があり、全国的に行われている実証実験などの情報を踏ま



総務分科会での審査の様子

え検討していきたいとの答弁がありました。

●職員による公金等着服の不祥事について

極めて遺憾であることから、市当局に対し、事務事業の執行に当たり、二度とこのような事案が発生することがないよう対策を講じ、市民からの信頼回復に努めるとともに、職員の長時間労働が常態化している部署も見られることから、適正な人員配置や働き方改革についても積極的に取り組むよう要望するとの付帯意見を付し、委員長に報告しました。

建設分科会

委員長 橋本 周一

●生活再建住宅等支援事業はいつまでの事業か

生活再建住宅等支援事業は県の補助事業であり、平成31、32年の2カ年延伸する回答がきている。市としても平成31、32年と継続して取り組みたいと考えている。

●子ども・高齢者いきいき住宅支援補助金の対象は

対象は、18歳未満の子供がいる世帯に対して支援する子育て支援型、65歳以上の高齢者がいる世帯に対して支援する高齢者バリアフリー型、18歳以上の家族が同居することにより新たに多世代同居となる世帯に対して支援する多世代同居支援型の3つのタイプ。子育て支援型は子供部屋の増設等、高齢者バリアフリー型はバリアフリー化、多世代同居支援型は同居するために必要な増設、これらの工事の支援を行うもので、工事をするに当たって必要な工事経費の10分の1、限度額10万円を現金で支給する。

●水道未普及地域の解消の考え方は

平成30年度予算については新規の給水区域拡張分の事業整備費は



建設分科会での審査の様子

●公共施設におけるくみ取り式の状況は

学校施設等含めて102施設がくみ取り式となっている。汚水処理普及率などの課題については情報共有しているところであるが、公共施設の水洗化についても、各担当課に情報提供し、連携を図っていきたい。

教育民生分科会

委員長 千田 恭平

3月5日、6日に教育民生分科会を開催し、延べ2日間にわたり所管の市民環境部、保健福祉部、教育委員会、藤沢病院事業関係の事項について教育長、担当部長、課長、事務局長等の出席を求め平成30年度予算に関する審議を行いました。

●国民健康保険条例関係

新年度から国民健康保険が県に移管することになることから、これまで比べ改正後の税率が低くなること、応能割・応益割の割合では応能割合を多くすることによって低所得者に配慮した税率になっていることの説明を受けました。

●保健福祉部関係

高齢者福祉乗車券にガソリン代を含められないかとの委員の質問に対し、当局から高齢者の社会参加の促進が第一の目的であり、この事業の中ではガソリン代を含めることは考えていないとの説明がありました。

●教育委員会関係

第70回全国都市教育長会議一関大会の開催に関し、全国から



教育民生分科会での審査の様子

●花泉地域統合小学校整備事業費

建設候補地に関し、場所、距離の関係と法令に関する質問があり、この点に関する付帯意見について協議を行いました。その結果、用地の選定にあたっては建設に支障となるような各種法規制に抵触することがないよう留意されたいこと、選定過程について地域関係住民に説明し理解を得ながら進められるように付帯意見を付して委員長に報告しました。

産業経済分科会

委員長 佐藤 浩

当分科会は、付託された商工労働部、農業委員会及び農林部関係について、特にも次のような審議を行いました。

●雇用対策費において、若者のふるさと就職定着は

新規高卒者ふるさと就職支援事業補助金を利用した事業所3年後離職率は岩手県の41・4%に対し26・55%で定着に繋がっている。若者等ふるさと就職支援事業補助金を利用した事業所の2年目の離職率は15・63%となり全国・岩手県より定着率は高くなっている。

●なのはなプラザの利用状況は

1階に設置している入場者カウンターシステムにより、平成29年4月から12月の期間で32万7067人の利用者があった。

●インバウンド推進の概要は

人口減少により地域経済力が弱まることから、海外からの観光客を誘客することで地域経済を維持していく考えである。

●農業委員会制度の改正は

業務の重点化、農業委員の選出は市長が議会の承認を経て任命、農地利用最適化推進委員の新設な



産業経済分科会での審査の様子

ど改正された。
●中山間地域等直接支払交付金は平成30年度は52haの拡大を見込んでいるが、掘り起こしを行い、有利な国・県の財源を活用するよう取り組んでいく。

●地産外商事業の内容は

「うまいもんまるごといちのせきの日」2回、「in町田」1回、都内レストラン連携事業2回、首都圏マンションキャラバン事業4回、一ノ関駅マルシェ3回などの開催を予定している。

市政課題で活発な論戦

第65回定例会の一般質問は2月21日、22日、26日の3日間、21人の議員が登壇し、活発な議論を展開した。なお、内容については各議員の文責である。

2月21日(水)

小岩 寿一 議員

- 1 空き家対策について
- 2 投票環境改善実施計画の結果について
- 3 保健福祉について

石山 健 議員

- 1 高齢者福祉の充実について
- 2 消防施設整備について
- 3 中小企業振興条例の制定を踏まえて、地域経済と中小企業振興対策の強化について

小野寺道雄 議員

- 1 施政方針と予算について

沼倉 憲二 議員

- 1 施政方針に基づく市政推進の取り組みについて
- 2 林業振興の推進について

武田ユキ子 議員

- 1 狐禅寺地区に提案している新焼却場、余熱利用施設建設候補地について
- 2 放射能汚染対策（道路側溝の土砂）について
- 3 いちのせき体操の普及啓発について

岩淵 優 議員

- 1 農業振興について
- 2 森林資源の保全と活用について
- 3 地域包括ケアについて

菅野 恒信 議員

- 1 市民の貧困状況と今後の支援策について
- 2 憲法・民主主義を暮らしに生かす市政について

2月22日(木)

岩淵 典仁 議員

- 1 高齢者福祉について
- 2 生涯スポーツについて
- 3 観光振興について

佐々木久助 議員

- 1 H29.10.17市長所信表明について
- 2 農林業の現状について

那須茂一郎 議員

- 1 北上製紙(株)撤退に伴う市の対応について
- 2 災害に対応できる戸別受信機の必要性について

次のページから各議員の
*QRコードをカメラ付き携帯
電話で読み取ると、一般質問
の様子をご覧になれます！

*「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。



2月26日(月)

佐藤 幸淑 議員

- 1 地域産業の振興について
- 2 中心市街地商店街について
- 3 事業承継について
- 4 松川保育園の駐車場について

勝浦 伸行 議員

- 1 財政運営について
- 2 観光振興について

菅原 巧 議員

- 1 引きこもり対策について
- 2 花泉地域の小学校統合に向けた歩道建設について

佐藤 雅子 議員

- 1 高齢化対策について
- 2 鳥獣害対策について
- 3 地域協働体について

千田 良一 議員

- 1 東稲山麓世界農業遺産について
- 2 女性の働く場について
- 3 柵の瀬橋～下之橋間の道路整備について
- 4 教育について
- 5 市民センターの指定管理化について

橋本 周一 議員

- 1 スポーツ少年団への支援について
- 2 国際交流の推進について
- 3 職員の配置等について

- 空き家バンク制度の中に家賃補助制度をつくる考えは
- 認知症対策の取り組み状況は
- 投票環境改善実施計画の成果は



小岩 寿一 議員

認知症カフェ、その他さまざまのひと家族の会などが開催している。市の広報やホームページのほか、認知症サポーター養成講座、介護事業所、または認知症の人と家族の会などが開催する



期日前投票風景（イオンスーパーセンター内）

質問 空き家を取得するときには、補助金の制度はあるが、家賃を助成する制度をつくる考えはないか。
答弁 家賃の助成ということになると、空き家を活用することだけにとどまらないということになってくると思う。空き家バンクを活用していただく場合の家賃補助というものは、現在のところは考えていない。

質問 今回の投票環境改善実施計画で、若者への投票率のアップにはあまり効果はなかったというところだが、今後どのような呼びかけを行っていくのか。
答弁 これまで実施してきている県の選挙管理委員会と連携した選挙啓発出前事業の継続などあわせ、さらなる検討が必要だ。委員会の中では、高校等への期日前投票所の設置等も話題になっており、移動期日前投票所の設置などとあわせ、今後投票事務全体の中で研究してまいりたいと考えている。

- 高齢者福祉の充実
- 地域経済と中小企業振興対策



石山 健 議員

質問 認知症の方は夜間に徘徊することが多い。居場所を特定できる必要があるが、GPS



認定を受けた高齢者と同居している介護者

質問 介護予防について、ポランティアあるいはサポーターの活用を含めた取り組み状況は。今後の福祉計画をどのように進めていくのか。
答弁 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいる。介護予防は、高齢者本人の参加意欲を基本とし、地域のつながりの中で継続的に活動が行われることが重要。今後も地域の方々の人材育成を促進しながら、地域全体で高齢者を支える体制づくりを推進してまいりたい。

質問 老老介護など在宅生活を支える取り組みは。
答弁 要介護4または5の認定を受けた高齢者など同居し、常時その介護に従事している介護者に対し、月額5000円の介護手当を支給する在宅寝たきり高齢者等介護手当の支給を行っている。また、介護手当の支給対象者で市民税非課税世帯に属する方に対し、月額8000円を限度額として介護用品の支給も行っている。



武田ユキ子 議員

○新焼却場は他候補地の検討も含め地元住民と対話を
○側溝土砂対策、国の処理基準待つのみにあらず



質問 狐禅寺地区生活環境対策協議会の役員の方々に対し、会長が不在であるので、協議会としての体制を整えていただきたいということ再度お伝えする必要がありますかと思っております。
狐禅寺以外の候補地の検討は
質問 なぜ狐禅寺なのか。他の候補地も検討すべきとの意見を踏まえ、狐禅寺地区以外の候補地の検討もすべきではないか。
回答 ほかの候補地の検討は現時点では考えにくい。

狐禅寺地区住民との対話を
質問 建設計画案が示されて7年を迎えるが、いまだに地元の理解が得られていない。そもそも「今までの施設とは全く視点の違う新たな施設」ということで、新焼却施設の建設場所として「今後、焼却場の建設をしない」との覚書を交わしている狐禅寺地区に限定し提案することについて、社会通念上理解しづらい。しかし、地元の賛否を含めたさまざまな考えが示されていることに鑑みて、市長みずから地元へ赴き対話を重ね信頼関係を築いていくことが重要ではないか。
回答 狐禅寺地区生活環境対策協議会の役員の方々に対し、会長が不在であるので、協議会としての体制を整えていただきたいということ再度お伝えする必要がありますかと思っております。



一関清掃センター（狐禅寺字草ヶ沢）

側溝土砂の除去新たな方針を
質問 7年もの間、滞留した側溝土砂により側溝機能不全状態が顕在化しつつある。国の処理方針を待つのみでは、理解が得られない。積極的な取り組み方針を示す段階に来ているのでは。
回答 住宅等に浸水被害が及ぶ恐れがあり、土砂の除去が必要な箇所が23カ所あるが、そのうち15カ所で側溝土砂の除去が完了。国に対して早期に処理基準を示すよう要望していくとともに、残りの8カ所も地区住民の皆様との御協力をいただきながら取り組んでいきたい。



小野寺道雄 議員

○ILCを基軸としたまちづくりの現状と課題
○資源エネルギー循環型まちづくりの取り組み状況
○財政健全化の問題点



ILC誘致の実験開始までに想定される事業スケジュールは。
回答 ILC国会議員連盟の関係者は、2020年の東京オリンピックまでには一定の結論が出て、2024年のパリのオリンピックまでには建設着工が開始されていることが望ましいと話されている。
質問 資源・エネルギーの地産地消に取り組むとしているが。
回答 アクシオンプランに定めた取り組みの計画的な実行に努めながら、新エネルギーの導入や活用のあり方も検討したいと

ILC誘致実現のため、課題となつていることは何か。
回答 世界各国との費用負担協議の調整が第一の課題である。
質問 ILCが地域にもたらす影響、効果はどのようなことか。
回答 ホスピタリティによる地域の活性化。多文化共生やグローバル人材の育成などが進む。
質問 ILC誘致が実現した場合の当市の負担、役割は。
回答 政府の誘致表明後に具体的な整備手法や県や市が担う役割が示されるものと考えている。
質問 ILC誘致の実験開始までに想定される事業スケジュールは。



森林資源を活用する市民の会の集材活動

考えている。
質問 バイオマス産業都市構想の取り組みの進捗状況は。
回答 家畜排せつ物を原料としたメタン発酵ガス化発電事業と木質チップを原料とする小規模木質ガス化プラントによる発電供給事業は、民間事業者が平成30年度中に東北電力と接続契約を結ぶ手続を進めている。
質問 財政指標から見える問題点をどのように捉えているか。
回答 財政構造の弾力性を表す経常収支比率は全国1741市町村中944位で、硬直化が進んでいると認識している。



岩淵 まさる 議員

○農業振興は
○森林資源の保全と活用は
○地域包括ケアは



農業振興は
質問 農家も高齢化が進み、熟練農家の経験に基づく栽培技術が失われていく心配がある。一方で、情報通信技術で栽培技術を新規就農者などに継承できるよう、データ化をして活用するAI農業によって、こうした課題を回避する実証実験が行われている。一関市が誇る質の高い農業のさらなる発展、地域振興を考えAI農業の普及に力を入れるべきではないか。
回答 岩手県が設置したいわてスマート農業推進研究会に加入している。今後想定される担い手不足の解消にもつながるものと確信し、積極的に研究会に参加し勉強しながら農家に普及させていく。
質問 IT技術を取り入れたスマート農業を試し、これからの10年で一関市の農業の未来を切り開く「一関モデル」をつくっていくべきではないか。
回答 AI農業の技術を活用しながら、若者が希望を持って農業に臨んでいけるような環境整備を行っていききたい。



期待される園芸農業の将来

森林資源の保全と活用は
質問 職員が施政方針を理解し、やる気を持って施策を推進するための取り組みと、職員の創意工夫を生かした市政推進は。
回答 施政方針の内容を確認できるよう、庁内システムに掲示するなど、周知徹底を図っている。所属長面談の中で創意工夫への意欲を把握し、相談に対応して助言等を行うことで、業務への反映に取り組んでいる。
質問 市民ニーズに寄り添った市政運営の取り組みは。
回答 市民起点と現場主義が重要。「市長へひとこと」や「移動市長室」などの取り組みは、まさにその基本となるものと考えている。
質問 市民ニーズに寄り添うというのは、結果を出して初めて完結するのではないか。
回答 平成28年度にいただいた「市長へのひとこと」へは全てに回答しており、直ちに対応することは無理だという場合は、その旨を付して回答している。
質問 市が市内の林業振興をリードし、森林組合等の関係団体が連携して事業推進に取り組むという明確なシステムによる。

地域包括ケアは
質問 今後予定されている森林環境税、森林バンク等の新制度への対応の準備は。
回答 新たな森林管理の制度が円滑に機能するよう関係機関と連携を図りながら、事前の準備を進めていきたい。
質問 限りある医療や介護等の現場の負担軽減、効率的なサービスの提供のために、ICTの活用が求められているが、市としての考えは。
回答 気仙圏域で実施している実証事業の推移を見守り、研究会などで研究を行っていく。



沼倉 けんじ 議員

○施政方針に基づく市政推進をどう進めるのか
○林業振興をどう推進するのか



林業振興をどう推進するのか
質問 職員が施政方針を理解し、やる気を持って施策を推進するための取り組みと、職員の創意工夫を生かした市政推進は。
回答 施政方針の内容を確認できるよう、庁内システムに掲示するなど、周知徹底を図っている。所属長面談の中で創意工夫への意欲を把握し、相談に対応して助言等を行うことで、業務への反映に取り組んでいる。
質問 市民ニーズに寄り添った市政運営の取り組みは。
回答 市民起点と現場主義が重要。「市長へひとこと」や「移動市長室」などの取り組みは、まさにその基本となるものと考えている。
質問 市民ニーズに寄り添うというのは、結果を出して初めて完結するのではないか。
回答 平成28年度にいただいた「市長へのひとこと」へは全てに回答しており、直ちに対応することは無理だという場合は、その旨を付して回答している。
質問 市が市内の林業振興をリードし、森林組合等の関係団体が連携して事業推進に取り組むという明確なシステムによる。

林業振興をどう推進するのか
質問 職員が施政方針を理解し、やる気を持って施策を推進するための取り組みと、職員の創意工夫を生かした市政推進は。
回答 施政方針の内容を確認できるよう、庁内システムに掲示するなど、周知徹底を図っている。所属長面談の中で創意工夫への意欲を把握し、相談に対応して助言等を行うことで、業務への反映に取り組んでいる。
質問 市民ニーズに寄り添った市政運営の取り組みは。
回答 市民起点と現場主義が重要。「市長へひとこと」や「移動市長室」などの取り組みは、まさにその基本となるものと考えている。
質問 市民ニーズに寄り添うというのは、結果を出して初めて完結するのではないか。
回答 平成28年度にいただいた「市長へのひとこと」へは全てに回答しており、直ちに対応することは無理だという場合は、その旨を付して回答している。
質問 市が市内の林業振興をリードし、森林組合等の関係団体が連携して事業推進に取り組むという明確なシステムによる。



伐採が進む杉林



佐々木久助 議員

- 農林業を市長はどう考えるか
- 高齢者社会の対応、具体的内容は
- 長田副市長は農業をどう捉えているか

質問 持続可能な地域づくりの中で、農林業の現状をどのように認識し、取り組みとしてい

答弁 一関で生まれ育った若者たちが安心して地元で働けるような環境をつくっていきいたいという思いから第1次産業の振興を施策の柱とした。農産物等のブランド化の推進、都市部を中心とした需要拡大と有利販売の促進、6次産業化の支援など、いずれも当市の発展につながる先駆的な取り組みであった。I-LCの実現は一関の第1次産業にとって大きなチャンスになると捉えており、I-LCと農林業の接点を生み出していきたい。現在進めている資源エネルギー循環型まちづくりでは、地域の森林資源などを活用する取り組みの中から、新たな雇用を生み出せる可能性が非常に高いと考えている。

質問 高齢化社会の社会資本整備を進めるというが、内容は

答弁 高齢者の生活支援の中で移動手段の確保が課題。利便性と効率性を兼ね備えた公共交通ネットワークを構築できるよ



農林業への支援を求める（興田中学校の生徒が作成したゆるキャラ）

う、努力をしていきたい。公共施設のトイレの洋式化を進めるほか、高齢者世帯のバリアフリー化、介護保険施設の整備に対する支援など、高齢化社会への対応に向けた取り組みを幅広く進めていく。

質問 若い副市長は一関市の農林業をどう感じているか。

答弁 全国的に見ても農業の盛んな地域で、東北を代表する産地であると捉えている。経済的な側面だけではなく、公益性の高い機能も有している。地道に努力を進めていかなければならないという認識でいる。



菅野恒信 議員

- 市民の貧困解消対策を
- 覚書を否定する焼却場建設は変更を

質問 ひとり親世帯等調査の結果が出されると聞いているが、その特徴と支援策の検討は

答弁 中間集計では、お子さんについての悩みの設問に対し、勉強、進学が最も多かった。どのような支援やサービスがあれば利用したいかとの設問に対し、仕事や職業に生かせる資格を取るための支援が最も多かった。

質問 生活力に対してどのような設問、答えであったか。

答弁 過去1年間にお金が足りなくて食料や生活用品が買えないことがあったかという設問に対し「よくあった」「時々あった」「まれにあった」の回答を合計すると半数を超える結果だった。

質問 憲法前文で平和的生存権がうたわれている。平和的生存権をベースに市行政を推進していくものと受けとめてよいか。

答弁 憲法の前文については、非常に崇高で尊重すべきものであると考えている。

質問 安倍内閣は遅くとも年内にも憲法9条の改正を目指すことを表明している。どのような認識をお持ちか。

答弁 国民に向けて憲法に関す



狐禅寺の平和な田園を残したい

る活発な議論を深めてもらうための発言であると受けとめている。一人の政治家の発言という意味では否定するものではない。

質問 狐禅寺焼却場建設計画は、新しい協定を結ぼうとするもので、その検討は、覚書を否定するという意味で法律の一般原則に抵触するものではないか。

答弁 新しい施設が地域の振興につながるものであることを御理解いただくことが重要と思っており、覚書の取り扱いは議論もしていかなければならない。覚書を一方的に破棄するつもりは全くない。



那須茂一郎 議員

- 北上製紙株式会社への対応は
- 戸別受信機の代用にあすもの活用は

質問 北上製紙株式会社は7月末をもって撤退すると発表された。市民生活に大きく影響することが考えられるが、存続に向け、支援の方向はないものか。

答弁 撤退発表の2日後、社長と面談をし、製紙業界全体が厳しい状況に置かれているという動向を伺った。コストダウンを徹底し、製品価格の修正にも取り組んできたが、損益改善、安定した黒字化は困難と判断し、苦渋の決断ではあったが、今回の結論に至ったというお話である。従業員の相談窓口をつくり、充実させていきたいことなどを申し上げた。

質問 雇用保険は会社都合なら待機1カ月、自己都合なら待機3カ月と聞いているが、この場合、希望退職はどちらに入るか。

答弁 正当な理由がある場合の自己都合退職でも適用になる制度がある。該当するかどうかの判断は公共職業安定所で行うことになるかと思う。

質問 再就職までの間、国民健康保険になる方もあるかと思うが、会社都合のときは軽減措置があると聞く。適用になるか。



屋外広報マスト 家の中まで聞こえないという声が多い

答弁 非自発的失業者への軽減措置がある。条件を満たした場合に、本人からの申請により適用される。税額算定のもととなる前年の給与所得を30%相当に算定することで、所得割の減額あるいは均等割と平等割の軽減につながる制度。

質問 戸別受信機が廃止され、屋外マストでは中まで聞こえない場合が多い。FMあすもの自動起動を活用してはどうか。

答弁 自動起動放送と割り込み放送は、異常な自然現象などで、市民の安全確保が必要になった場合に放送することとしている。



岩淵典仁 議員

- 高齢者福祉（新しい総合事業）
- 生涯スポーツ（障害者スポーツ）
- 観光振興（勧請1300年室根神社特別大祭）

質問 新しい総合事業の取り組み状況と課題は

答弁 通所型サービスBは、一関地域で3団体、花泉地域で1団体、藤沢地域で1団体、合計5団体が事業を開始している。身近な地域の通いの場として取り組んでいただきたいが、事業の実施に至らない地域が多い。通所型サービスCは、一関地域で3事業所、千厩地域で1事業所、藤沢地域で1事業所、合計5つの事業所が事業を実施した。他の地域では事業所の人材不足、利用者確保できないなどの理由から実施に至っていない。

質問 サン・アビリティーズ一関の障害者の利用状況は

答弁 平成26年度12・9%、平成27年度12・6%、平成28年度12・1%の利用状況である。

質問 一関市障がい者スポーツ協会設立により、当市においてどのような可能性の枠が広がるかと考えているか。

答弁 本年2月14日、県内市町村で初めて、一関市障がい者スポーツ協会が設立された。市内の種目別競技協会と同様、協会の育成やスポーツイベントの開



今秋、勧請1300年を迎える室根神社特別大祭

催について支援していきたい。

質問 勧請1300年室根神社特別大祭への対応は

答弁 室根大祭協賛会への補助金を、平成27年に開催した前回の大祭協賛会への補助額に200万円を増額し、平成30年度当初予算に計上した。また、今回新たに1300年祭をPRするテレビコマーシャルによる宣伝、PRカウントダウン事業、いちのせきハラミ焼なまじよたべ隊を含めたB-1グルメモーターの開催、太鼓フェスティバルの参加団体をふやすなど、にぎわいの創出を図ろうとしている。



永澤 由利 議員

- 奨学金の拡大を
- スカイスポーツの振興は
- 閉校後の郷土芸能の継承を伺う

質問 全体の人口減少を超える勢いで進む生産年齢人口の減少に歯どめをかけることが重要かつ喫緊の課題である。本年度、奨学金制度の拡充を図ったことは評価するが、現行制度は職種が限定されている。市内に勤務することを条件とした給付型奨学金制度を創設する考えはないか。

答弁 企業の人材確保や移住定住、若者の地元定着という観点から有効な手段の一つと考えている。今後、市としての対応を総合的に検討していかなければならないものと捉えている。

質問 一関・平泉バルーンフェスティバルの開催意義、効果は。

答弁 熱気球は子供からお年寄りまで年齢を問わず、どんなでも楽しめるものと捉えている。夜にはバルーンイリュージョン



閉校となった本寺中学校の鶏舞

質問 医療介護従事者修学資金貸付金制度を歯科衛生士・臨床検査技師まで拡大する考えがあるか。

答弁 市内の歯科診療所における歯科衛生士の不足や医療機関における助産師の不足が大きな課題であることから、貸付対象に歯科衛生士及び助産師を追加する改正条例を提案させていただいた。歯科衛生士の修学に係る貸付金額は入学一時金は40万円以内、月額貸付金は4万5000円以内としており、平成30年度入学生及び在学生から対象とする。

質問 理工系大学への給付型奨学金の創設を考えるとどうか。

答弁 若者の定着という観点からも給付型奨学金の創設は有効な手段の一つと考えている。今後、市としての対応を総合的に検討していかなければならないものと捉えている。

質問 中学校の長期休業中のスクールバスの運行に、地域において差があるという意見が寄せられている。その実態は。

答弁 各学校が定める運行計画に基づき、学校の判断により、長期休業期間中のプール利用や中学校の部活動に係る運行もしている。現在スクールバスを運行している中学校8校のうち4校が、長期休業期間中の部活動に対し、スクールバスを運行している。運行に応じた部活動時間の再設定ができるかなど、学校と調整しながら対応したい。

質問 中学校の長期休業中のスクールバスの運行に、地域において差があるという意見が寄せられている。その実態は。

答弁 各学校が定める運行計画に基づき、学校の判断により、長期休業期間中のプール利用や中学校の部活動に係る運行もしている。現在スクールバスを運行している中学校8校のうち4校が、長期休業期間中の部活動に対し、スクールバスを運行している。運行に応じた部活動時間の再設定ができるかなど、学校と調整しながら対応したい。

- 生産年齢人口確保のための給付型奨学金創設は
- 中学校のクラブ活動への加入は
- スクールバス運行の基準は



金野 盛志 議員

質問 少子化や価値観の多様性がある中、クラブ活動への加入は必須になっていないのか。

答弁 各中学校では生徒会規則等で部活動の加入を規定していることから、原則全員加入の状況であることは承知している。各学校の教育課程は、校長が定めることとなり、部活動に必ず加入させることとするかどうかは、各学校の方針や事情に基づき、学校ごとに判断する



雇用確保を担う一関東工業団地

質問 閉校後、郷土芸能はどのように継承すればよいか。

答弁 地域文化の取り組みの一つとして、伝承される地区全体で活動を守り立てて継承していくことが何よりも大切であり、地域活動に対してどのような支援が必要か、効果的な支援について探ってまいりたい。



千田 恭平 議員

- 統合千厩小学校の通学路は安全か
- 老人福祉センターの建てかえ計画は

質問 統合千厩小学校の通学路は安全か。

答弁 秋の森跨道橋から新千厩小学校の校門まで長い坂道が続く。歩道と車道の間には保護柵は坂の途中までしかないが、上方まで設置する考えはないか。歩道の除雪は現在どう行われているか。歩道の照明が不十分ではないか。校門前などは、朝の通学時間に見守りなどが必要ではないか。

答弁 市道千厩病院線は現在も千厩小学校の通学路となっており、開校後も道路使用の形態に変化はないものと認識している。開校前までに合同点検を実施し、危険箇所の把握や安全対策の検討を行っていききたい。歩道の除雪については開校後もシルバー人材センターと委託契約を締結し進めていきたい。現在、防犯灯が26基設置されているが、3月末までに7基を追加設置する予定である。見守り体制は今後もボランティアの方々により御協力をいただくような取り組みを行っていききたい。

質問 老人福祉センターの建てかえ計画はあるか。千厩老人福祉センターは全て和室で、膝に負担がかかる。椅子の配置を



防犯灯が増設された通学路

質問 老人福祉センターの建てかえ計画は。

答弁 現時点では血液検査の導入は難しい。国の動向を注視したい。

質問 老人福祉センターの建てかえ計画は。

答弁 現時点では血液検査の導入は難しい。国の動向を注視したい。

- 就学援助制度の拡充を
- 新焼却場候補地選定は公正公平に
- 胃がん検診の改善を



岡田もともみ 議員

質問 就学援助制度の所得基準を引き上げる。

答弁 当市の就学援助制度の所得基準は1・2倍未満のままで、認定者数の割合は年々減少している。準要保護世帯の所得基準の引き上げを早急にすべき。

質問 狐禅寺地区を建設候補地と提案してからの4年間は、地元住民にはかり知れない心労を与えている。候補地決定をおくらせているのは、狐禅寺地区に固執する当局の姿勢に原因がある。最終処分場と同様、公正公平な選考方法へ変更を急ぐべき。

答弁 現在は狐禅寺地区対策協議会幹事の皆様へ基本合意書のような文書の取り交わしに向けた協議をさせていただきたい旨をお願いしている段階。

市内全域で説明すべき

質問 市民と議員の懇談会で、指定ごみ袋一つにしても広く市民の意見を聞いているのに、焼却場については市民の声を聞かないのかという意見が出ている。



50年近く焼却場を受け入れてきた狐禅寺地区への建設を反対する市民運動

質問 胃がん検診の改善を。

答弁 現時点では血液検査の導入は難しい。国の動向を注視したい。

質問 ほかの地域で説明しないのか。

答弁 提案した相手が狐禅寺地区対策協議会だ。その相手方に丁寧な説明するのが前提条件。

血液検査や内視鏡検査の導入を

質問 バリウムによるエックス線検査は、高齢者など体力的にも大変な検査。今は血液検査によって、がんのリスクを発見できる。身体的負担の軽減や選択肢をふやすなど検査方法を改善し、受診率向上とがんの早期発見に努めるべき。

答弁 現時点では血液検査の導入は難しい。国の動向を注視したい。



勝浦 伸行 議員

- 硬直化している予算の認識は
- 空き校舎を活用したマンガ図書館建設を
- 道路建設要望事業の進捗状況は

質問 国保制度は皆保険制度として、無職や退職した方など、低所得者が構成員の中に存在する制度である。結果、生活保護基準以下の所得で生活し納税している人たちは、暮らしを脅かしているのか。被保険者の負担が重いのは、国の負担率を削減してきたことが一番の問題だが、憲法によって国民の生存権を侵してはならないとあって、生活脅かしての徴収や差し押さえはすべきでないことから、低所得者への軽減策を市の裁量で実施することが必要ではないか。

回答 生活保護基準で言う収入認定での把握はしていないが、総所得33万円以下の世帯が全体の39%を占めている。納税相談で、世帯の状況に応じて福祉部門へ引き継ぎ、生活再建の取り組みが図れるよう努めている。

質問 「資源・エネルギー循環型まちづくりアクションプラン」では、廃棄物の減量化、資源化に取り組み目的の一つに「既存焼却施設への負担軽減と最終処分場の延命化」を挙げて

質問 社会資本、公共施設整備を初めとした大型投資が続ぎ、多額の地方債の発行により厳しい財政運営である。硬直化した財政状況をどう捉えているか。

回答 事業の実施に当たっては、限りある財源を有効に生かせるよう、後年度の負担にも意を配しながら進める必要がある。

質問 社会資本整備を進める上で、人口動態の把握が重要なファクトであるが、現状の急激な人口減少を数字として捉え、予算運営、財政運営に反映してきたか。

回答 平成30年度～平成39年度には12%、1万3800人ほどの減と見込んでいる。平成28年以降の新市建設計画の見込みから人口が急激に落ち込んだと認識している。

質問 マンガ図書館の創設は、観光振興、空き校舎活用による地域創生、図書館ネットワークの拡充を念頭に、増田町のマンガ美術館、登米市の石ノ森ふるさと記念館、そして世界遺産平泉の玄関口としての地の利を生かし、図書館のまち一閑として新たな一歩を踏み出す好機である。



横浜市 広報



増田町の交流センター看板

- 生保基準以下の所得世帯は独自の減免を
- 分別、再資源化は専門の課を設置し対応を



藤野 秋男 議員

質問 国保制度は皆保険制度として、無職や退職した方など、低所得者が構成員の中に存在する制度である。結果、生活保護基準以下の所得で生活し納税している人たちは、暮らしを脅かしているのか。被保険者の負担が重いのは、国の負担率を削減してきたことが一番の問題だが、憲法によって国民の生存権を侵してはならないとあって、生活脅かしての徴収や差し押さえはすべきでないことから、低所得者への軽減策を市の裁量で実施することが必要ではないか。

回答 生活保護基準で言う収入認定での把握はしていないが、総所得33万円以下の世帯が全体の39%を占めている。納税相談で、世帯の状況に応じて福祉部門へ引き継ぎ、生活再建の取り組みが図れるよう努めている。

質問 「資源・エネルギー循環型まちづくりアクションプラン」では、廃棄物の減量化、資源化に取り組み目的の一つに「既存焼却施設への負担軽減と最終処分場の延命化」を挙げて

質問 社会資本、公共施設整備を初めとした大型投資が続ぎ、多額の地方債の発行により厳しい財政運営である。硬直化した財政状況をどう捉えているか。

回答 事業の実施に当たっては、限りある財源を有効に生かせるよう、後年度の負担にも意を配しながら進める必要がある。

質問 社会資本整備を進める上で、人口動態の把握が重要なファクトであるが、現状の急激な人口減少を数字として捉え、予算運営、財政運営に反映してきたか。

回答 平成30年度～平成39年度には12%、1万3800人ほどの減と見込んでいる。平成28年以降の新市建設計画の見込みから人口が急激に落ち込んだと認識している。

質問 マンガ図書館の創設は、観光振興、空き校舎活用による地域創生、図書館ネットワークの拡充を念頭に、増田町のマンガ美術館、登米市の石ノ森ふるさと記念館、そして世界遺産平泉の玄関口としての地の利を生かし、図書館のまち一閑として新たな一歩を踏み出す好機である。



自治会の取り組みを紹介する宇都宮市ごみ減量課

- 跨線橋への歩道設置を
- ひきこもりの対策は



菅原 巧 議員

質問 一閑駅前商店街は、地域住民のみならず、観光客にとっても重要な場所だと考えるが、中心市街地商店街の活性化について、どのように考えているか。

回答 各個店が個性を発揮して郊外型店舗と差別化を図ることを基本に、魅力ある商品、個店ならではのサービス提供、担い手の育成など、地域コミュニティに根差した商店街づくりを目指していくことが必要。個店への誘客促進、魅力ある商店街イベントの開催や商店街の売り出しなどへ支援を行っている。

質問 一閑地域の商工業者の事業承継問題をどう考えているか。

回答 一閑商工会議所は事業承継に係る後継者確保対策の一環として、中小企業支援室を設置。平成29年度には市内事業者に対するアンケート調査や、2月から実施する個別事業訪問により実態把握に努めており、市ではその費用の一部を助成している。現在進めている個別事業所の訪問は、市と商工会議所との共同により150社ほどを対象に来年度までの2力年で実施

質問 県道若柳花泉線、涌津字二ツ檀地内の跨線橋への歩道設置について、進捗状況は。

回答 跨線橋への歩道設置について、現時点での具体的な整備計画はないとのことであり、実施に当たってはJ&Rとの協議が必要になると聞いている。当市としては、跨線橋を含めた市道二ツ檀清水原線までの区間も歩道の設置が必要であると認識している。これまでも県に対し要望してきており、教育委員会において統合小中学校の建設候補地が決定している。今後は、未整備区間の早期整備を引き続き県に要望してまいりたいと考えている。

質問 小中学校の学校不適應の人数は、また、学校不適應のまま義務教育を卒業した子供は何人か。

回答 平成29年度12月末時点で小学校8人、中学校66人、合計74人であるが、平成28年度と同時期と比較し10人程度減少している。中学校卒業時の不登校生徒数は、平成28年度は28人と



早期に望まれる跨線橋への歩道設置

- 中心商店街の活性化は
- 事業承継問題は
- 松川保育園駐車場の整備は



佐藤 幸淑 議員

質問 一閑駅前商店街は、地域住民のみならず、観光客にとっても重要な場所だと考えるが、中心市街地商店街の活性化について、どのように考えているか。

回答 各個店が個性を発揮して郊外型店舗と差別化を図ることを基本に、魅力ある商品、個店ならではのサービス提供、担い手の育成など、地域コミュニティに根差した商店街づくりを目指していくことが必要。個店への誘客促進、魅力ある商店街イベントの開催や商店街の売り出しなどへ支援を行っている。

質問 一閑地域の商工業者の事業承継問題をどう考えているか。

回答 一閑商工会議所は事業承継に係る後継者確保対策の一環として、中小企業支援室を設置。平成29年度には市内事業者に対するアンケート調査や、2月から実施する個別事業訪問により実態把握に努めており、市ではその費用の一部を助成している。現在進めている個別事業所の訪問は、市と商工会議所との共同により150社ほどを対象に来年度までの2力年で実施

質問 松川保育園の駐車場の整備する計画はあるか。

回答 現在の駐車場は10台ほど駐車が可能。児童の送迎のほか、来客用や職員駐車場として利用しているが、送迎時の駐車場としては十分ではないと認識している。今後の児童数の状況などによっては、駐車場のさらなる確保が必要となることも考えられるが、現時点で具体的な駐車場の整備は計画していない。



駐車場の整備が望まれる松川保育園



橋本 周一 議員

- スポーツ少年団への支援は
- 国際交流の推進を
- 今後の職員の配置は

質問 スポーツ少年団へのアンケート調査の結果から検討した今後の支援策は。

答弁 課題として挙げられた指導者の確保、指導に必要な資格者の確保を解決するための一助として、指導に必要なスポーツ少年団認定員の資格取得に係る受講料、交通費等の一部を補助することとし、平成30年度予算に計上した。

質問 練習会場などへの送迎について、具体的な支援を検討する考えはないか。

答弁 1団体当たり1万4000円、団員1人当たり2500円の育成費を助成し、団の運営を支援している。そういったものも活用していただきながら、何とか工面をしていただきたい。

質問 セントラルハイランズ市の訪問団は単なる交流ではなく、産業の視察など、目的を持った訪問となっていた。人的交流のみではなく、産業や経済などにも波及し、交流先との新たなぎすが生まれると考えるが、どのように考えているか。

答弁 セントラルハイランズ市に限らないが、さまざまな分野



セントラルハイランズ市の訪問団

で向こうから学ぶところは非常に多い。単に観光地をよく理解し合うというだけにとどまらず、実際に体験できるような、そしてこれから何か新しい産業に結びつくようなものが生まれれば一番望ましい姿だろうと思っている。

質問 市民と議員の懇談会の中で、これ以上職員を減らさないでほしいという要望があった。支所職員は今後も削減するのか。

答弁 行政サービスの水準の維持に特に意を配し、業務の見直しとあわせながら職員数の適正な配置に努めてまいりたい。

3、請願第3号 久保川イーハトープ世界への生態系保全についての請願書

前の1と2については担当職員から説明の後、委員から質疑、意見交換を行いました。3の請願については委員会として採択することに決定しました。

2月9日、常任委員会を開催し、○花泉地域統合小学校用地候補地について、○千厩地域統合小学校整備について、○東山小学校新



花泉地域統合小学校用地候補地の現地調査



佐藤 雅子 議員

- 高齢化対策は
- 鳥獣害対策いかに
- 地域協働体の課題は

質問 特別養護老人ホームの人材確保、育成、定着を図る施策は。

答弁 介護人材が質、量とも確保されることが重要。介護職員研修奨励金事業や介護人材確保奨学金補助事業に取り組んでいる。

質問 地域包括ケアシステム構築の取り組みは。

答弁 顔の見える関係づくりや生活支援コーディネーターの配置による地域課題の把握、地域の支え合い、見守り活動の促進、地域包括支援センターの設置など、一関地区広域行政組合と連携し、取り組みを進めてきた。

質問 在宅寝たきり高齢者への介護手当を拡充すべき。

答弁 他市と比べても対象者の範囲が広く、所得要件等の制限もないことから、事業の拡充は難しい。

質問 認知症の対策はいかに。

答弁 次期高齢者福祉計画において、認知症の方と家族への支援を重点課題の一つと捉えている。

質問 鳥獣害対策は。

答弁 一関市鳥獣被害対策実施隊により、年間を通じ捕獲活動



指定管理者制度への移行により開所式が行われた東山市民センター

を実施してまいりたい。市の独自事業として有害獣の侵入防止柵設置事業を実施しているが、資材購入費の一部を助成することで、被害の軽減対策に取り組んでおり、駆除による対策とあわせて農産物被害の防止を図ってまいりたい。

質問 地域協働体活動費補助金の使途基準は。

答弁 地域づくり計画の実践などの活動に要する経費及び雇用する事務局職員人件費1人分とし、具体的な対象経費の取り扱いは、補助金交付要綱及び内規で定めている。

- 東稲山麓世界農業遺産
- 全国学力調査の結果と一高附属中学校の影響
- 社会教育と市民センターの指定管理



千田 良一 議員

質問 東稲山麓の世界農業遺産認定について、申請地域への支援は。

答弁 中山間地域等直接支払制度などを活用し、支援を行っていく。東稲山麓地域世界農業遺産認定推進協議会では、農地の保全等に取り組んでいる集落を民間企業が応援する仕組みをモデル的に導入し、地域と企業が一緒に農村の活性化を図っていくシステムを現在検討している。

質問 全国学力・学習状況調査の結果をどう捉えているか。

答弁 県全体の中学生の結果について、特に数学は全国を大きく下回っており、当市を含め県全体の課題と捉えている。岩手県と秋田県との学力の差について、正答率の比較では、全ての科目で岩手県が下回っており、隣県から学ぶべきは学び、学力向上に生かしていくことが大切と考えている。

質問 一関一高附属中学校開校に伴う市内小中学校への影響は。

答弁 各小中学校では、特に附属中の入学に係る特段の負担はないという報告を受けている。中学校では入学予定者が附属中に



金山棚田田植え

流れることで学級編成に影響が出ることで、比較的学力上位の児童が附属中に流れることはある。そのような場合でも、新たな人間関係の形成や学級づくりが行われ、生徒の個性や自主性の発揮、学力の伸びなどの成長も見られている。

質問 市民センターの指定管理化により、社会教育はどで担うのか。

答弁 平成27年度から社会教育に関する事務を市長部局に置き、まちづくり推進部、各支所及び各市民センターが所管している。

教育民生常任委員会

委員長 千田 恭平

2月7日、常任委員会を開催し、次の3点について所管事務調査及び請願審査を実施しました。

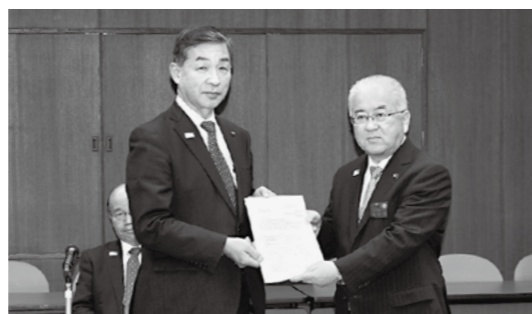
- 1、室根歯科診療所の診療日等の変更について
- 2、保健福祉部が所管する各種計画の策定等について
- ① 一関市高齢者福祉計画の策定について
- ② 一関市障がい者プラン2018の策定について
- ③ 一関市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて

その後、花泉統合小学校用地候補地を視察しました。候補地は消防署の向かい側にあり、道路近くの用水路、排水路の中にある平坦な農地です。その後、4月に開校予定の千厩小学校を視察しました。校舎はほぼ完成し、開校に合わせて体育館が、また夏までにプールが完成する予定です。

市長への提言

- ① 高齢者の運転免許の自主返納対策を含めた公共交通施策の拡充強化を図ること。
- ② いじめ問題の根絶を図ること。
- ③ 行政防災情報基盤整備や光ブロードバンドの整備を促進し、情報格差の解消を図ること。
- ④ 焼却場建設を含めたごみ処理については、科学的根拠に基づき、全市民の合意を得る努力を図ること。
- ⑤ インバウンドに対応した外国語表記や駅などのエレベーターの整備を図ること。
- ⑥ 小中学生からインターンシップを活用し、地元企業に触れ合う機会の創設を図ること。
- ⑦ 住民を地域づくりの主体とする住民基本条例（仮称）を制定すること。
- ⑧ 基幹道路、生活道路、上水道、汚水処理及び治水対策などの社会資本整備の推進を図ること。
- ⑨ 市民センターの指定管理が進む状況を踏まえた地域協働体へ最適な補助金要綱や監査制度を創設すること。
- ⑩ 市民センターの指定管理などで、行政サービスの低下にならないような体制を構築すること。また、社会教育分野の強化を図ること。
- ⑪ 中学校のクラブ活動の加入問題等のあり方について、総合的な対策を講じること。
- ⑫ 鳥獣害対策の強化拡充を図ること。
- ⑬ 結婚、婚活の施策の拡充強化を図ること。
- ⑭ 北上製紙(株)の廃業で、市民生活に影響しない対策を講じること。
- ⑮ 市内企業の廃業や合理化が報道されており、企業誘致で雇用の場の確保を図ること。

※ 市政に反映を求める提言であり、回答を求めるものではありません。



皆さまからの提言を市長へ

個別の提言事項		地域
【ILC】		
1	ILC関連のこれまでの予算はいくらか。	一関
2	ILC誘致による市への効果はあるのか。	一関
3	ILCは、丑石が銀座になると宣伝しているが、どう儲かるのか。	大東
4	ILCに触れる懇談会があってもいいのではないのか。	川崎
5	ILCについて、放射能物質の最終処分地にならないか懸念している。放射能最終処分地にしないとの条件を付して誘致活動しては。	花泉
6	ILCはトンネルを掘るのは大変。外国では金がかかるから日本によこした。	花泉
7	ILC誘致、当地と対抗地域の九州の動きが見えないがどうなのか。	千厩
【市民生活】		
1	平日の10時台の懇談会では、若い人の参加は望めない。遅い時間とか、休日の設定が必要だ。	一関
2	人口減とともに、議員歳費、市長、職員の給料を下げ、除雪など住民の利便性に意を配した事業に充てるべき。	一関
3	年取200万円以下の人が増えている。今までの企業誘致だけでなく、所得が増える手立てを考えるべき。	一関
4	昨年10月の選挙結果投票率はどうだったか。特に、高齢者やひとり暮らしの方は。	東山
5	松川は商店がなく買い物、病院への交通手段がない。	東山
6	福祉乗車券は一関に行くと1回半でなくなる。	東山
7	高齢化とともにドアツウドアの交通手段が必要。	東山
8	スクールバスやデイサービスのパスは利用できないのか。	東山
9	除雪が下手だ。除雪の技術向上が重要。	東山
10	除雪により出入り口がふさがれて困る。	東山
11	通学前（夜間）に除雪できないか。	東山
12	地域の実情に合った除雪車の選定をすべき。	東山
13	実情認識のためにも建設課等によるパトロールが必要だ。	東山
14	まちづくりに適応した補助金要綱が必要だ。（地域の特色ある事業をするために）	東山
15	例えば、岩淵麗菜選手の冬季オリンピック出場を祝し、祝砲を上げる費用についてやり取りの末「今回に限り」許可となったが、パブリックビューイング時の茶菓等柔軟に対応してほしい。	東山
16	市民センターの指定管理の状況を聞きたい。	東山
17	償却資産の残存価格について、固定資産税は所得税と違うので、納税者にとり不利だ。	大東

今回の懇談会開催に当たり、会場まで足を運んで、さまざまなご意見をいただき感謝申し上げます。今回の懇談会は改選後初であり、定期的に市内8カ所を実施しました。皆様からいただいた意見等は次ページ以降にとりまとめさせていただきます。この中から3月15日に市長に市政に反映するよう提言しております。また、その他のご意見等については順次各常任委員会において調査を行うなどの対応をしております。加えて、議会にいただいたご意見については、次回の議会だよりにおいて、回答いたします。なお、平成30年度の「市民と議員の懇談会」については、議会運営委員会において、時期、会場、日程等について検討を行うこととしております。

日 時	会 場	担当班	参加人数
平成30年2月5日（月）	狐禅寺市民センター	1	52人
	東山地域交流センター	1	28人
	一関市役所千厩支所	3	38人
	一関市役所花泉支所	3	26人
平成30年2月6日（火）	大東コミュニティセンター	2	44人
	川崎市民センター	2	20人
	藤沢市民センター	4	34人
	室根曲ろくふれあいセンター	4	19人
合計参加人数			261人

議員班編成名簿

班	班 長	班 員							
1班	武田ユキ子	岩淵 優	佐藤 敬一郎	菅野 恒信	千田 恭平	小野寺道雄	岩淵 善朗	佐藤 雅子	
2班	佐藤 浩	永澤 由利	那須茂一郎	千田 良一	千葉 信吉	勝浦 伸行	石山 健		
3班	小山 雄幸	佐藤 幸淑	門馬 功	菅原 巧	岡田もとみ	金野 盛志	橋本 周一		
4班	藤野 秋男	岩淵 典仁	小岩 寿一	佐々木久助	千葉 大作	千葉 幸男	沼倉 憲二		

市議会に対する意見及び要望

- ① 議会、議員の役割は行政の監視である。
- ② 議員の視察での調査が施策に具体的に反映するように期待する。
- ③ 議会傍聴者が少ない。市民の関心の喚起のために、事前に質問内容の周知が必要である。
- ④ 議会の質問の際に、事前に回答を得て、質疑を深めるようにされたい。
- ⑤ 懇談会開催時期、時間の設定が悪い。
- ⑥ 市議会だよりの文字が小さく、読みにくい。
- ⑦ 懇談会について、市長へ提言しているが、その後、議会ではどのように進めているのか。
- ⑧ 各会派での視察等は、会派でなく全議員で実施してはどうか。
- ⑨ 年間、議員にかかる費用はいくらか。
- ⑩ 合併後、財政状況が悪化している。財政問題に対する認識が議会は希薄ではないか。財政について勉強が必要である。
- ⑪ 議長が就任のインタビューで『議員定数は削減ありきではない』と述べているが、議長の立場としては、議会の中の議論をまとめてからの発言とすべきである。
- ⑫ 夜間や休日の議会開催を。
- ⑬ 懇談会の結果について、報告をされたい。
- ⑭ 政務活動、視察などの報告がない。また、調査結果を実現するよう努力すべきである。
- ⑮ 懇談会の持ち方について工夫が必要である。



議会へのご意見、要望を議長へ

	個別の提言事項	地域
60	事業の申請をした時、担当者はいろいろ本庁に聞いて何回も書類を提出させられて頭にきて、行政不信になっている自治会長もいる。何度行っても用が足せない。	藤沢
61	支所の機能を強化してくれ。自治会長は平日勤めて、いない人が多い。これからは高齢化で車の運転が大変になってくる。条例で見直しをしてもらいたい。	藤沢
62	議会と一部事務組合があるが、そこで発言する議員もいるが、一部事務組合に参加している議員の賛否が分かれるのはなぜか。	藤沢
63	岩手県交通の藤崎線が3月で廃止され、市営バスになるが長く続けてもらえるか。高齢者は買い物が大変だ。	藤沢
64	毎日、川崎の道の駅に行っている。除雪、融雪剤はボランティアがやっている。道路の管理も良い。藤沢地域側は除雪が悪い。しっかりした除雪をお願いしたい。	藤沢
65	除雪した後も日陰で凍結する。木を切って日陰にならないようにしてほしい。	藤沢
66	食生活改善推進委員も高齢化で、今では60歳以上の方が多い。推進委員を増やしてほしい。前のように地域で順繰りに講習会を開催してほしい。	藤沢
67	若者の結婚が進む地域づくりをお願いしたい。	室根
68	道路沿いの日陰になる木を人を頼んで切ったり、枝等のごみを処理するのもお金がかかる。業者に伐採して処分してくれと頼めばやってくれるのではないか。	藤沢
69	行動する議員であってほしい。副市長は「人口減少問題は喫緊の課題だ。」というがそれがどういうものなのか具体的に教えてこない。	藤沢
70	指定管理のあり方、協働のまちづくりに関して、地域協働推進委員として去年やってみた。。思った以上に大変で今後どうなるか心配だ。	藤沢
71	協働のまちづくりに関して、若い人を中心に理解をいただき、事業を起こして遂行するためにも地元の議員たちが真剣に説得し、訴えてほしい。	藤沢
72	総合デザインPDCAの結果はどうなっているのかただしてほしい。	藤沢
73	結婚してここに住むと決まった以上、この空き家にただで住んで下さいとか、土地も無償であげるからといった形で全国から応募したらどうか。	藤沢
74	地元住民になってもらうのだという強い覚悟と決意がないとだめだ。若い人の引っ張り合いをしても人口が増えるわけがない。	藤沢
75	一関市にも外国人が大勢きている。この人たちが市内に長く住んでもらえるような新しい施策を作ることを行政・議員が一丸となってやってほしい。	藤沢
76	道路にかぶってじゃまな木の伐採について、行政の動き、段取りをうまくやってもらいたい。なかなかその動きが見えない。	藤沢
77	今必要なことを今やってほしい。働き口がないのにどうやって生活していくのか。今後の見通しを将来と現在の問題を並行しながら実行していくこと。	藤沢
78	藤沢支所に寄ってきたが、職員の数が少ない。これ以上減らさないでほしい。	藤沢
79	空き家対策についてだが、地域には3人の議員がいる。地元にはどんな空き家があるのか、聞き取りをして全国のモデルを研究してほしい。	藤沢
80	議員が30名いるので、1年1組の結婚促進をしてほしい。	藤沢
81	子供が少ない。65歳以上が40%以上だ。何か歯止めをかける方法はないのか。	室根
82	イベント情報をもっと流してほしい。	室根
83	人口が流出している。財産評価を下げて、荒らさないようにしてほしい。	室根
84	気仙沼市に行きたいが、高齢化で足がない。バスを通しても誰も乗らない。隣接県なのにあまり交流がない。15分で行けるのに。	室根
85	市の一番の基本は「安心安全な街づくり」。これに関連しているんなものが動いているが、どれだけ力を入れているのかを思うと疑問を呈するところがある。	室根
86	交通指導隊の設置条例があり、指導員の養成をしっかりとやるとうたっている。しかし一般的な防犯隊については、それが全くない。	室根
87	地域単位での防犯協会が防犯隊員を依頼しているが、市長が任命し、隊員として資質の教育とか装備なども一律に市が責任を持ってやるのが筋ではないか。	室根
88	防犯隊員の設置の条例を議員発議で作ってもらえないか。	室根
89	地域協同体が各々の地域課題、計画を作っている。市の総合計画を作る際に各地域の課題、要望を計画の中に盛り込む仕組みを作してほしい。	室根
90	地域協同体に関しては、自分の地域は自分達で考えて参画する意識を持つまで議会で意識高揚を進めてほしい。	室根
91	若者定住の件で、水道普及が30%、津谷川は75%、水が余っているので矢越にその水を持ってくる計画はないのか。	室根
92	公債費率が11.5%で10%を越えている。総合開発をするときには、地域住民の意見も聞いてほしい。	室根
93	診療所の雪かきを、遠くから来ていただいている医師・看護師にさせるのはいかがなものか。市の職員が雪かきをできないものか。	室根
94	防犯隊の制服がほしい。防犯隊と社協の連携がほしい。10～20年先の市の防犯のあり方を考えてほしい。	室根
95	除雪の腕を磨いてほしい。凍結、わだちなど、最初の除雪をしっかりやれば問題ない。	室根・藤沢
96	今日の結果を、遅くとも1カ月以内に回答し、つづきに対応してほしい。	室根

	個別の提言事項	地域
18	議会は市長に追随しているだけだ。	一関
19	議員は質問を事前通告しているので、事前回答を得て、一問一答にしていってらうか。	大東
20	投票率が下がった。議員定数を下げればもっと下がっていくのではないか。	大東
21	親しみやすい議会にするように。	大東
22	議会質問の最後に、自分の意見を述べるようにしてほしい。	大東
23	出張所の廃止は住民サービスの低下だ。	大東
24	市民センターの指定管理は、受け側の使用者責任はどうなるのか。職員、市民が損害を被らないように。	大東
25	選挙に関心を持ってもらうために、投票立会人に役場OBではなく、公募でもいいから一般市民を。	大東
26	出張所の廃止は言語道断。興田地区の人口、面積は川崎より大きい。措沢は大原より(扱い件数)多い。市民権の公平性からも重大だ。	大東
27	少子化、若者定住化対策について、全国六大都市以外で、農村型の強烈的な意見書を提出してほしい。	大東
28	少子高齢化、人口減少は対策しないから少なくなっているのだ。なぜ、一関市はやらないのか。	大東
29	投票所が少なくなり、高齢者は玄関が遠い場所になり、投票に余計行かなくなった。法律を変えて郵便でする投票を導入してほしい。	大東
30	浄化槽が、個人型から市町村型になり、また個人型になるというが、負担が大きくなる。サービス低下にならないように。	大東
31	合併時に大きな予算がとれるからというので賛成したが、地域で行ってきたことができなくなった。道路についても、奥地のことまで考えてやってほしい。	大東
32	地方創生では、資源(山、川)を使い、思い切ってやったらどうか。	大東
33	高齢化で、回覧板を回すのも大変になってきているので、区長に全戸配布してもらいたい。	大東
34	公共施設の有効活用を考えてもらいたい。	大東
35	財源を確保してもらいたい。	大東
36	合併してなにも良くなかった。分村運動をやっていく。	大東
37	懇談会の時間が足りない。興田地区でやってほしい。	大東
38	防災無線の内容は、家の中では全然わからない。FMあすもでの今のやり方では無理だ。万遍なく伝えられるように情報を伝達する方策を講ずること。	川崎
39	三角のラジオを使っていない。情報無線と違って使い勝手が悪い。もっと広報周知を徹底するように。	川崎
40	予算がないということで情報無線をやめて、FMあすもでやれではダメだ。	川崎
41	FMあすもに、地区別放送を取り入れ、戸別受信機でのようにしてほしいのではないか。	川崎
42	まちづくりには、20～40歳代の活力、アイデア、意見が大切だ。若い世代が住めるような職場など具体的な策が必要だ。	川崎
43	UJIターン、定住、結婚、出産などに祝い金を出し、うれしい気持ちになってもらったらいい。	川崎
44	地域の文化が崩れてきたような気がする。体育協会は事務局が活用されていない。福祉活動は民間任せ。防災、納税組合についてもそうだ。市民センターも制約されるみたいだ。こうしたことを合併前と比較してもらえないか。	川崎
45	人口が少なくなったからなくす、というのでは、誰も住まなくなってしまう。残すべきものは残せ。	川崎
46	市民センター化について反対の声をあげた。社会教育主事は増員するとのことだったが増員したか。	川崎
47	納税組合の報奨金が見直しが伝えられているが、川崎は26自治会が加入し、100%で収納率アップに努めている。一関ではグループなそうだが、グループでは加入率が悪くなる。	川崎
48	商店街の活性化を図ってほしい。	東山
49	若い人が参加できるような懇談会を。	川崎
50	子ども、高齢者、女性が重要だ。子どもに関しては保育園、待機児童。高齢者に関しては介護施設、施設職員の資質が下がってきているように思えるし、入居のための苦労、金額、入居者、家族に対する職員の厳しさ。女性に関しては活躍支援を、出産離職すると再就職がむずかしい。	川崎
51	花巻、西根は10代の若者採用会社に補助金がある。市として若者採用企業に助成を。	花泉
52	土日、給食のない日にご飯を食べるのに苦労している人はどのくらいか。土日に食べられる場所を。	花泉
53	H34年の統合後の体育館利用。床を抜いて、土を入れて野球、グラウンドゴルフ等に使えるようにしてほしい。	花泉
54	猫の飼い方など、となり近所の方の協力体制が欲しい。動物との共存について個人だけに負担をかけないで。	花泉
55	近所で火事があった際、花泉高校の水が使えなかった。緊急時に使えないか考えてほしい。	花泉
56	議会で財政についての発言、質疑がほとんどない。議員は政策を述べているのに事務的な答えをしている。懇談会も1カ所所で1日かけるつもりでやってほしい。花泉議員4人で報告会もやってほしい。	花泉
57	避難場所について、11・12区は清田小、13区は農協改善センターだったが、ユーモア館となった。満杯となる恐れがあり、どこに行けば良いのか考えてほしい。	千厩
58	北上製紙が閉鎖になるが、そのような会社を誘致できるか。このままだと地元に住めない。残った住宅や土地は相続放棄したいと考える。	千厩
59	地域づくり計画を市民センターが作っているが、これが一関市の総合計画とどのようにリンクしていくのか、事業計画が是非総合計画とリンクするようにしてほしい。	藤沢

個別の提言事項		地域
29	広域のグリーンセンターは一関・奥州での話があったが流れてしまった。また一緒にやろうという話はないか。新しいごみ処理施設を一つにしてはどうか。	大東
30	布団、綿の処理。袋に詰めて出したら、黄色の紙を貼られて、持っていかけてもらえなかった。どうすれば良いのか。	千厩
31	かつて室根地域はリサイクル率が県下で1番だった。もっと住民に資源の活用を訴えてほしい。	室根
【農業・産業・観光】		
1	バイオマス循環型まちづくり指定都市になり、期待している。薪ストーブの補助とともに、薪ボイラーへの補助が必要だ。	東山
2	広葉樹対象の薪の駅設置に協力してほしい。	東山
3	厳美溪、平泉、狛鼻溪周遊バスの運行時刻を使いやすくしてほしい。例えば、舟の運航や列車の発着とリンクさせるなど。	東山
4	駅、観光地、道路等に外国語表記を増やしてほしい。	東山
5	狛鼻溪駅は2階なので、エレベーター・歩道を設置してほしい（外国人観光客は荷物が大きい）	東山
6	駅に歓迎等の表示看板が必要だ。	東山
7	北部開発センターが活用されていない。技術者もいない。	大東
8	農業振興について市ができるものは何かないか。今の農業者は50歳、60歳代だ。何か新しい農業に挑戦しようとしても、年齢制限があり、補助対象外にされてしまう。	一関
9	やる気がある者には世代に関係なく支援をしてほしい。また、百姓をやってみないかという制度を作るのもいいと思う。	川崎
10	企業誘致はどうなっているのか。北上市では東芝以外でもセブンイレブンの弁当工場のこと聞いた。なぜ、北上市は発展しているのか。	川崎
11	一関はプレゼンの機会にいいところを訴えているのか。特別なものがあるのか。	川崎
12	企業誘致がうまくいっていないために、高専の卒業生が外に出て行ってしまっている。	川崎
13	バイオマス発電所について、平成29年1月29日に企業の説明会があったが、以後、音沙汰がない。市長提言もあったが、議会ではどう進んでいるのか。	川崎
14	老松のベゴニア館。市で補填しているが、新年会の部屋はだるまストーブ2個だけで、出された食事も冷たい。これでは客は来ない。	花泉
15	ベゴニア館入り口も除雪していない。こんなところに補填するなら市道に回してほしい。	花泉
16	農業基盤整備事業、大平・根山地区は県で設計、H33に工事着工予定。清田、仏坂地区の基盤整備の促進をお願いしたい。	千厩
17	6つ農業法人があるが、補助金をもらいながら四苦八苦している。農協の懇談会にも議員の姿が見えない。農業法人の内容を掘り下げて、サポート願いたい。	千厩
18	産業都市の認定を受けているが、具体的に再生エネルギーの動きはある。バイオマスの推進員となっているが、竹林の整備はNPOではとても進展しない。チップ化の話もあるが市としての動きは。	千厩
19	藤沢土地改良区と市に係る国営の進捗状況はどうなっているのか伺いたい。	藤沢
20	農地のハウス内をコンクリートにすると宅地並みの課税となる。農地としての課税となるよう認めてほしい。	藤沢
21	一関管内に成果物検査場を作してほしい。青果物はガス貯蔵庫で虫を殺菌して殺す。この施設の建設もお願いしたい。	藤沢
22	人口減少問題は、室根地域の基幹産業の荒廃につながり、高齢化が進み、土地の放棄も広がっている。小山プロイラーは室根地域の稼ぎどころだ。	室根
23	新しい工場を建てたいが、農地の絡みがある。農地を集積して新しい別産業に提供できるようになれば、活力ある産業につながる。議員で考えてほしい。	室根
【社会資本整備】		
1	松原地区にはマストがついていない。外での仕事が多いので、情報が入ってこない。	大東
2	大東千厩線が12年凍結されているので、進めるように。	大東
3	社会資本整備というとはっきりしなくなるので、具体的に提言するように。	大東
4	下水道と同じ負担でという考え方で市町村設置型の浄化槽だったが、個人型になるということなので、負担に差異ができないようにしてほしい。	川崎
5	2022年に花泉小が統合される。JRをまたぐご線橋について、統合までになんとかならないか。	花泉
6	国道284号から体育館（駐車場狭い）に抜ける道路の整備（歩道がない）。支所から摺沢に抜ける道路の拡幅。病院から中学校に行く道路の外灯が暗い。	千厩
7	林道市道線、H5にできたが未だに未舗装。中学生もテニスコートへの近道として利用している。前向きな対応を。	千厩
8	薄衣大橋から花泉に抜ける道路。S30年代の道路のまま。改良を県に要望してほしい。	千厩
9	八星運輸から中沢集会所間、混みあって迂回している状態。どこに要望すれば良いのか。	千厩
10	JRの東西通路を無料にしてほしい。	藤沢
11	室根バイパスは間もなく完成する。次は藤沢バイパスをお願いしたい。	藤沢
12	藤沢地域は袋小路になっている。登米市から藤沢地域に抜けるようにトンネルを作って、I L Cの現場にもつなげてほしい。宮城県と藤沢地域に抜けるトンネルを早急に作してほしい。	藤沢
13	大籠の太陽光発電はいつからやるのか。雨が降っても大丈夫なのか。	藤沢

個別の提言事項		地域
【保健福祉】		
1	旧南光病院は、放射性廃棄物（側溝土砂）の一時保管場所の候補となったが、跡地の利活用を願う。一関病院の現状を含めて考えてほしい。	一関
2	高校まで医療費無償化が広がったのはよい。	一関
3	川崎で開催された懇談会であったが、老人ホームを建てていかなければ、高齢化社会に対応できないのではないかと。	川崎
4	平成30年度予算において、高齢者、健康寿命を注視した対応を議員には見ていてもらいたい。課題をつぶすように働いてもらいたい。	川崎
5	介護施設職員の取り合いが起きている。介護職員が不足して、施設に空き室が生じている。介護職員の負担を軽くするために介護ロボットの導入もあり、人が減ることも念頭においていてもらいたい。市の一部で対応してもらいたい。（介護職員発言）。	川崎
6	高校生医療費無償化。一旦出す必要がないように現物給付にならないか。	花泉
7	認知症について、みんなで理解する必要がある。全員サポーターになるよう、議員には率先して取り組んでほしい。	千厩
8	認知症について、オレンジリング、お願いお助けカードなどいろいろ取り組んでいるがいかに効果があるのか疑問。行政の動きが遅い。	千厩
9	認知症に関しては、高崎市ではGPSを無償貸与している。冬場の行方不明は命取り。	千厩
10	磐井病院の医者が少ない。大崎市民病院には耳鼻科だけでも3人の医者がいる。	千厩
11	老人福祉センター、室根の方も来ており、手狭になってきている。清田小の跡地を福祉センターに再利用できないか。	千厩
12	保育所建設の件について、近所の老人が面倒を見られるような簡単な企業内託児所のようなものを作る働きかけを、議員の中で協議会を作って地元企業に進めてほしい。若い人の呼び水となる。	藤沢
13	老人の1人、2人暮らしが増えている。対策を望む。都会から地元に来るよう啓蒙してほしい。	室根
【環境・ごみ】		
1	当局は、狐禅寺地区に焼却場建設計画案を示す前の分を含め、関連する行政内部の会議録を公開すべき。	一関
2	焼却場建設計画が狐禅寺地区に提案されたことにより、コミュニティがバラバラになった。	一関
3	昨年1月に市長・議長に狐禅寺地区への廃棄物処理施設建設反対の署名簿を添えて陳情したが、議会は建設促進の決議をした。	一関
4	放射性廃棄物の貯蔵施設になるのではないかと。	一関
5	ごみ焼却による放射能の風評で中里のコメが安い。	一関
6	焼却場は市長の出身地東山に建てるべきだ。	一関
7	焼却場問題が狐禅寺地区の分断の元となっている。	一関
8	焼却場は各地区持ち回りで設置すべきだ。	一関
9	焼却場建設計画案を前に進めるべき。出席議員の考えを聞きたい。	一関
10	今年1月18日付けの「狐禅寺の自然環境を守る会」の会報は情けない。狐禅寺地区生活環境対策協議会を機能させるのが筋ではないか。（狐禅寺の自然環境を守る会に対して）	一関
11	配布された資料の中に（焼却場建設は）狐禅寺ありきの表記がある。	一関
12	焼却場は必要な施設であるが、建設場所の選定は同一地区の選定ではなく、何力所かの候補地を選定し、その地区ごとの開発整備を約束し、住民の合意を得るべきだ。	一関
13	ごみ袋の変更でさえも全市のパブリックコメントがある。焼却場建設ではなぜやらないのか。公平ではない。	一関
14	焼却場建設がここ（狐禅寺）でなければならぬ理由がわからない。	一関
15	放射能除去を含め、不安材料は払拭されない。	一関
16	狐禅寺地区に新たな地域振興策は必要ない。	一関
17	一関地区広域行政組合の視察場所は、当地と違って埋め立て地や海のそばだ。ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア、鎌倉市に視察に行してほしい。	一関
18	最終処分場、ごみ袋にしても、住民の声を反映していない。	一関
19	焼却場から1キロぐらいに住んでいる。山水を利用していたが、ダイオキシン問題の際、上水道が敷設された。	一関
20	焼却場は世界一の公害発生施設だ。ダイオキシン、放射能、更にあらゆる重金属の発生がある。排出基準があることが危険だ。	一関
21	ごみ袋の種類が多い、透明袋で2系統（燃える、燃えない）にして、中身については、丸印をつける方法が良いと思う。	東山・藤沢
22	焼却場建設の進捗状況はどうなっているのか。新炉の性能はどのようなものか。	東山
23	大東の焼却場では、衣類などは30センチ以下に切って出すことになっている。一関の焼却場ではそれがないと聞いている。分別が統一されていないのではないかと。	東山
24	年齢とともに分別が大変になる。分別を少なくしてほしい。	東山
25	狐禅寺の覚書が履行されないと、一般市民は信頼できないと思っている。	大東
26	合併効果は出てきているが、1月10日岩手日日のゴミ袋の記事で、記名の取り扱いが地域で異なることは差別だと思う。分別をしっかりと進めるというが、努力がみえない。	大東
27	放射能被害に関して落ち葉使用について回答がない。	大東
28	ごみ処理の熱の利用を。	大東

市民の声

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

田舎だから何にもない!? 自分の住んでいる地域の人たちと接すると、さまざまな情報やスキルを持った方たちがたくさんいます。農業のプロ、山菜取りの名人、料理のプロ主婦、伝統文化のプロなど。都会ではお金を払ってわざわざ遠くまで出かけないと体験できないようなことも、近所で見たり聞いたり学んだりできる、いい環境があります。地域の子供たちのためならば…と教育に協力してくれる方はたくさんいるのではないのでしょうか。田舎ならではの恵まれた環境をいっぱい享受し、一関出身の子供はこのレベルまでの教育をしっかりと受けているというところがブランド化できれば、さまざまな好循環が生まれるのではないのでしょうか。



皆川かおりさん
大東町鳥海

「一関出身」をブランド化

私は今年18歳になり選挙権を得ました。それと同時に責任を感じています。4月から大学で化学を学びます。卒業後大学でいろいろな学んだことを地元一関で生かすことができない仕事に就きたいと考えています。現在一関市が推進しているILCにも期待をしていますが、近い将来一関に化学の研究施設や場所等ができれば、地域の活性化にもつながると思いますし、私なりに尽力できればと思っています。



金野 裕太さん
千厩町千厩

化学の研究の場を

● 議会を傍聴しませんか ●

- 6月定例会は6月中旬に開会予定です。詳しい日程などは議会事務局へお問い合わせください。
- 傍聴席は60席です。車椅子での傍聴、聴覚補助のためのヘッドフォンも用意しております。
- 定例会の様子は下記の媒体でもご覧いただけます。
[生中継] 一関ケーブルテレビ、市ホームページ
[録画] 市ホームページ
[録音] FMあすも（一般質問のみ）

3月定例会の傍聴者数 56人

スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけるようになりました。



● ご意見・ご感想をお寄せください ●

議会だよりを読んで感じたことや、議会についてのご意見などをお待ちしています。議会だよりは市のホームページでご覧いただくこともできます。

〒021-8501 一関市竹山町7番2号 議会事務局 (TEL 21-8604 / FAX 26-5556)
議会メールアドレス gikai@city.ichinoseki.iwate.jp

一関市議会 検索

個別の提言事項	地域
14 ひのくち橋の架け替えを要望している。今の優先順位はどの位置にあるのか。	藤沢
15 県道薄衣東和線、黄海から三陸道に行くとき、曲田を越えていくが、曲田から県境を越えて行くと、車のすれ違いができない狭い場所がある。隣接する登米市と協議して拡幅工事をお願いしたい。	藤沢
16 七日町から薄衣にかけての県道は拡幅が困難。黄海地区では圃場整備工事がされている。県道の付け替えを検討している。	藤沢
17 外から来る人が来たくても来れない。大籠から一関地域に行って帰ってくるのはOKだが、一関地域から大籠に来て、一関地域に戻るのに交通の便が悪い。	藤沢
18 宮城県から来た人が、県境、大籠、本吉、米川の交通が全く途絶えている。そのことも是非考えてほしい。	藤沢
19 地元では宮城県等に土を運んでいる。道路のすれ違いができない。一方通行になる。畑を提供するから道を広げてほしいとの話もある。当初1年だけの予定とのことだったが、延長、延長で3~4年になるが住民の負担軽減のことも考えてほしい。	藤沢
20 国公営開発の件もある。都会から親の面倒を見るために帰ってきた人が、「これなら帰ってこないほうが良かった。」と思われるように環境の整備にもしっかり配慮してほしい。	藤沢
21 水道の維持管理は行政がしてほしい。気仙沼市は評価が高いが、室根地域は水道がないので評価が低い。気仙沼市から水を買うのは可能だ。何回も話をしている。気仙沼市、一関市の両市議たちが一緒になって検討してほしい。水道のない場所に人は住まない。	室根
22 道路問題について、室根本吉線だが、途中の志津川まで来ている。室根地域、千厩地域の人は東北自動車道まで行かなくても良くなる。室根本吉線の果たす役割は大きい。	室根
23 津谷川の道路は、これが県道なのかと言われるくらいひどい。問題部分を早急に改良してほしい。県に要望してほしい。	室根
24 室根地域の土木建設業が一番困っていることは、仕事がないことだ。市からの発注工事がなくなった。背景には、室根バイパス建設に100%入っている状況。それ以外の工事は全くない。会社は人を雇用するにも大変な状況。ある程度の公共工事が必要ではないのか。民間ベースだけの事業発注はなかなか期待できない。	室根
25 県道218号で落差や急カーブがあるので、救急搬送の際に速回りをした話を聞いた。早期の改修を頼みたい。	室根
26 国道の側溝の掃除。夏にゴキブリが側溝から出てきて困る。掃除してくれと要望を出しているが、国道だから国の管理だからできないと言われた。	室根
27 国道の大川の掃除。草刈りを住民がやってきたが、建設業者にもやってほしい。川底に砂がたまり、かやが大きくなっている。市に頼んでもやってくれない。自治会でやろうとしたが、周りから「危険なことをやるな」と止められた。橋の周囲だけでも景観を良くしたいので建設業者をお願いしたい。	室根
28 室根バイパスの所々にハードボックスがある。暗くて危険。建設課に話したが、どうするか県からも返答がない。開通前に解決してほしい。	室根
29 2人で月曜から金曜までパトロールしているが、土日にかけて小動物の死体を投げ捨てる人がいる。土日もパトロールを。パトロールのやり方を考えて予算を有効に使ってほしい。	室根
30 学校に全て上下水道がないのはふさわしくない。プールを作るにも必要だ。室根地域全体に水道を引くのに問題があるのなら、せめて公共施設にだけは引いてもらう努力をしてほしい。	室根

【教育】	
1 学校教育について、サラリーマンを育てる教育であり、事業を起こすような教育でない。	大東
2 大東では7年後には50人の入学になる。教育施設のあり様を検討してほしい。単純に一つに寄せるようなものではなくて。	大東
3 中学校の部活動を先生の負担を軽くするためにも、育成会活動と部活動に切り分ける。	川崎
4 部活動を学校ごとにこだわらず、合同部活動が可能にする。	川崎
5 部活動のあり方が中央教育審議会でも検討されているので、市教委でも検討願いたい。	川崎
6 部活動が強制になっているが、生徒の将来の夢を摘まないように、強制をしないでほしい。	川崎
7 スポーツ少年団活動があまりにも多く、いずれも長時間となる。あまりスポ少に時間を取られたくないと思う人もいる。部活動を全員に課すことから脱却してほしい。初期投資も10万から20万ほどかかる。義務づけのような流れもあるので教育サイドに提言してほしい。スポ少活動が地域中心となるように働きかけを。習い事が部活で続けられない状況。	花泉
8 花泉中は長期休業中の部活動にスクールバスが出ない。千厩は出るそうだ。統合時の約束との話もあるが。	花泉
9 小学生と高齢者との食事会などバス費用がかかる。スクールバスを活用できないか。	花泉
10 花泉小の統合問題。子供が減ったからではなく、花泉で子供を育てたい統合小づくりを進めたい。ご支援を。	花泉
11 小学校の統合問題で、東と西の小学校を統合して一つにする約束が10年前にされた。去年やっと話し合いがあった。大きくして切磋琢磨できるような教育環境を作ってほしい。	室根
12 学校統合については、平成30年4月から千厩地域、平成31~34年は花泉地域、それ以降に室根地域となるような話だ。来年から室根東中は複式となる。学校設置条例を改正してほしい。父兄からも声があがっている。学力低下につながらないか心配の声がある。	室根
13 学校統合で校舎の空きが出る。活用をどうするか。現状のまま使えと言われても無理がある。学校として使わないなら、解体または更地にして、新しいものを作るというのが民間の考えだ。市はどこまでやれるか検討してほしい。	室根

※ このご意見については常任委員会等で調査を行い対応してまいります。

あんなとこい。
こんなとこい



保呂羽神社

保呂羽山山頂付近にある神社です。肥後侯細川綱利の母堂の信仰が篤く、同家からの献納品が残されています。細川氏とのつながりは、金採掘やキリシタン信仰によるものとされますが、詳しくはわかりません。
所在地：藤沢町保呂羽字二本柳

【表紙解説】

春は別れと出会いの季節。一関市立室根こども園でも、卒園式（3月20日）入園式（4月9日）が行われました。

子供たちは、先生から自分の名前を呼ばれると、元気いっぱい返事をする子、恥ずかしながらも一生懸命に返事をする子、緊張して小さな声でも確かに返事をする子、同じ年齢でもさまざまな表情、表現をしていました。

こども園は、子供たちにとって初めての社会参加の場。いろいろな友達とたくさん遊んで、泣いて、笑って、ケンカする中で、自分の個性に花を咲かせてもらいたいのです。



卒園式の様子

あながき

春は、入学、就職などで新生活を始められた若い世代も多いのではないのでしょうか。平昌冬季五輪で当市出身の岩淵麗菜（れいな）選手が4位に入賞したことは本場に嬉しいニュースでした。岩淵選手の活躍は、若い世代に対して、かなえない夢はこのまちからでも実現できるのだと勇気と希望をいただいたのではないのでしょうか。

今月号は、「3月定例会」、「市民と議員の懇談会」が主な内容となっております。「市民と議員の懇談会」では、議会だよりに対しても、内容、字の大きさ、写真の使い方など御意見をいただき、ありがとうございます。今後とも市民の皆様に関心をもつていただけるよう、わかりやすく、読みやすい、議会だよりとなるように、編集委員一同で取り組んでまいりますので、何とぞよろしく願います。

編集委員 岩淵典仁

議会報編集委員

委員長	千 葉 信 吉
副委員長	小 岩 寿 一
委員	岩 淵 典 仁
	那 須 茂 一 郎
	門 馬 久 功
	佐 藤 敬 一 郎
	佐 藤 恒 信
	菅 野 恒 信

印刷／株一関プリント社



この印刷物は環境にやさしい植物系インキを使用しています。再生紙を使用しています。

発行／岩手県一関市議会
電話／0191-21-8604

住所／一関市竹山町7番2号
FAX／0191-26-5556

編集／一関市議会報編集特別委員会
E-mail:gikai@city.ichinoseki.iwate.jp